

第3期花巻市子ども・子育て支援事業計画 策定のためのアンケート調査

就学児票 集計報告書

令和 年 月
岩手県 花巻市

(令和7年1月29日現在)

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	3
1	お子さんご家族の状況について	3
2	母親の就労状況について	12
3	父親の就労状況について	17
4	お子さんの病気やけがの際の対応について	22
5	お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う 一時預かり等の利用について	30
6	放課後の過ごし方について	40
7	子どもの育ちをめぐる環境について	47

I 調査概要

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

本調査は、第3期花巻市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、子育て世帯の皆さんの意見等を収集し、計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 実施概要

本調査の対象及び配付、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：市内にお住まいの就学児童の保護者
- 抽 出 方 法：調査対象より2,320名を無作為抽出
- 調 査 内 容：おもに子育ての環境や、今後の教育・保育への希望等
 - ・ お子さんやご家族の状況
 - ・ お子さんの育ちをめぐる環境
 - ・ 保護者の就労状況
 - ・ 育児と職場との両立支援
 - ・ 定期的・不定期的教育・保育の利用状況
 - ・ 地域支援事業の利用状況
- 調 査 期 間：令和6年（2024年）2～3月
- 調 査 方 法：学校配付・回収
- 配付・回収：

配付数	回収数	有効票数	回収率
2,320票	2,107票 (うちWEB回答：706票)	2,090票 (うちWEB回答：689票)	90.1% (うちWEB回答：29.7%)

2 集計結果を読む際の留意事項

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を 100% として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。
(※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が 100.0% とならない場合があります。)
- 複数回答の設問では、各比率の合計が 100.0% を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「―」は、四捨五入の結果 0.1% 未満の値となったもの、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。（分析の軸とした調査回答者の属性（年齢別、居住地域別など）で n が少ないもの（10 人未満を目安）は、分析の対象から外す場合があります。）
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。
- 集計結果の構成比を割合で表記する際は、下記のとおりとします。

（例）40% 台

表記	4 割	4 割強	4 割台半ば	5 割近く	5 割
範囲	40.0～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

Ⅱ 調査結果

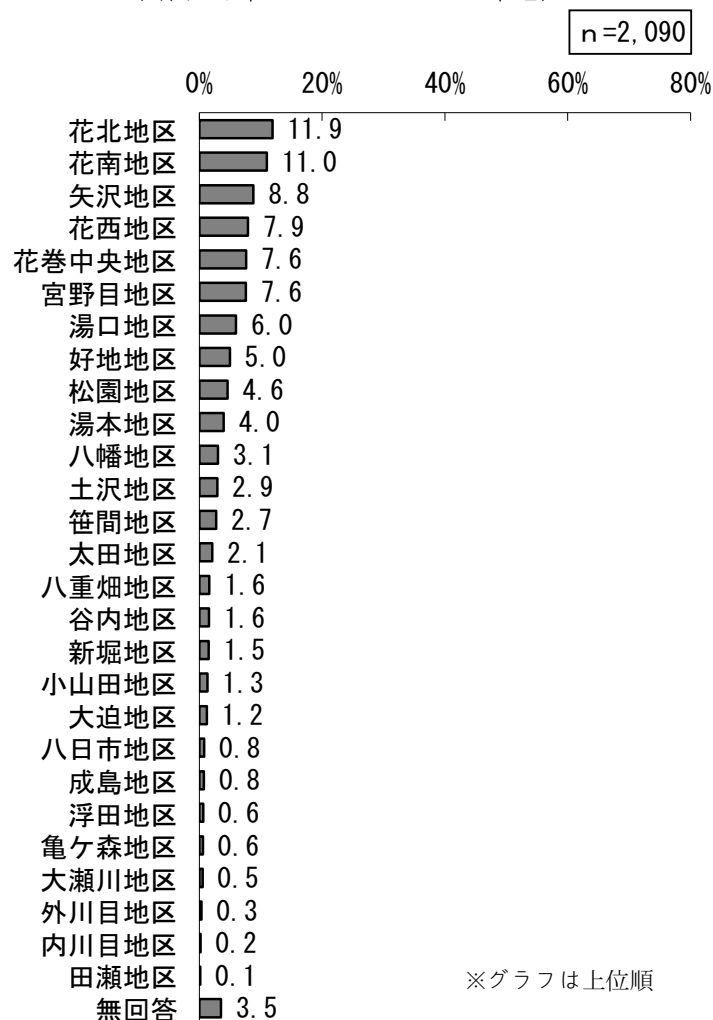
1 お子さんご家族の状況について

(1) お住まいのコミュニティ地区

問 お住まいの地区（コミュニティ地区）をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

○ お住まいのコミュニティ地区について、「花北地区」が11.9%と最も多くなっています。次いで「花南地区」が11.0%、「矢沢地区」が8.8%となっています。

図表 お住まいのコミュニティ地区



※グラフは上位順

(n=2, 090)					
	回答数	構成比		回答数	構成比
1 松園地区	96	4.6%	15 亀ヶ森地区	12	0.6%
2 花北地区	249	11.9%	16 好地地区	104	5.0%
3 花巻中央地区	159	7.6%	17 大瀬川地区	11	0.5%
4 花西地区	166	7.9%	18 八日市地区	17	0.8%
5 花南地区	230	11.0%	19 八幡地区	64	3.1%
6 湯口地区	125	6.0%	20 八重畑地区	34	1.6%
7 湯本地区	83	4.0%	21 新堀地区	32	1.5%
8 矢沢地区	184	8.8%	22 小山田地区	28	1.3%
9 宮野目地区	158	7.6%	23 土沢地区	61	2.9%
10 太田地区	44	2.1%	24 成島地区	16	0.8%
11 笹間地区	57	2.7%	25 浮田地区	13	0.6%
12 大迫地区	26	1.2%	26 谷内地区	33	1.6%
13 内川目地区	4	0.2%	27 田瀬地区	3	0.1%
14 外川目地区	7	0.3%	無回答	74	3.5%

○ 学年別でみると、小学3年生は「花南地区」が13.1%と最も高くなっています。

図表 お住いのコミュニティ地区（学年別・親の就労状況別：上位3項目）

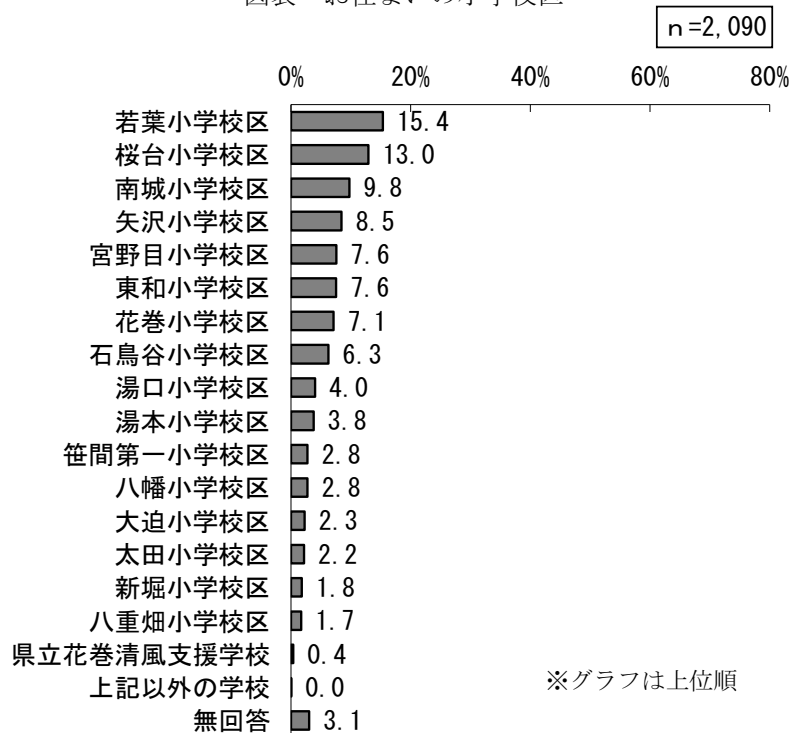
	第1位	第2位	第3位
小学1年生 (n=339)	花北地区 13.3%	花南地区 13.0%	花西地区 9.4%
小学2年生 (n=463)	花北地区 11.2%	花西地区 10.4%	矢沢地区 9.9%
小学3年生 (n=564)	花南地区 13.1%	花北地区 12.6%	矢沢地区 9.6%
小学4年生 (n=621)	花北地区 11.9%	花南地区 11.0%	宮野目地区 8.5%
共働き (n=1, 556)	花北地区 11.9%	花南地区 11.1%	矢沢地区 9.4%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	花北地区 13.2%	花南地区 11.4%	花西地区 9.4%

(2) お住まいの小学校区

問 お住まいの地区（小学校区）をお答えください。（当てはまるもの1つに○）

○ お住まいの小学校区について、「若葉小学校区」が15.4%と最も多くなっています。
次いで「桜台小学校区」が13.0%、「南城小学校区」が9.8%となっています。

図表 お住まいの小学校区



(n=2,090)

	回答数	構成比		回答数	構成比
1 花巻小学校区	149	7.1%	11 大迫小学校区	48	2.3%
2 若葉小学校区	321	15.4%	12 石鳥谷小学校区	131	6.3%
3 桜台小学校区	271	13.0%	13 新堀小学校区	38	1.8%
4 南城小学校区	204	9.8%	14 八幡小学校区	58	2.8%
5 湯口小学校区	84	4.0%	15 八重畑小学校区	36	1.7%
6 湯本小学校区	79	3.8%	16 東和小学校区	158	7.6%
7 矢沢小学校区	177	8.5%	17 県立花巻清風支援学校	8	0.4%
8 宮野目小学校区	159	7.6%	18 上記以外の学校	1	0.0%
9 太田小学校区	46	2.2%	無回答	64	3.1%
10 笹間第一小学校区	58	2.8%			

○ 学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「若葉小学校区」が最も高くなっています。

図表 お住まいの小学校区（地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目）

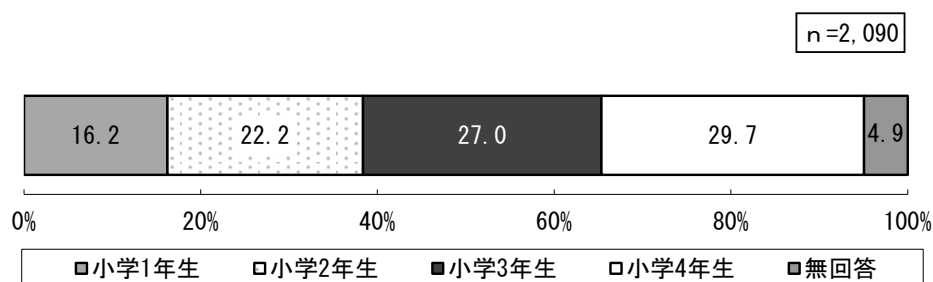
	第1位	第2位	第3位
小学1年生 (n=339)	若葉小学校区 18.9%	桜台小学校区 14.7%	南城小学校区 10.9%
小学2年生 (n=463)	若葉小学校区 16.6%	桜台小学校区 14.5%	東和小学校区 9.5%
小学3年生 (n=564)	若葉小学校区 15.1%	桜台小学校区 13.1%	南城小学校区 11.7%
小学4年生 (n=621)	若葉小学校区 13.8%	桜台小学校区 11.9%	南城小学校区 10.0%
共働き (n=1,556)	若葉小学校区 15.2%	桜台小学校区 13.0%	南城小学校区 9.8%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	若葉小学校区 17.4%	桜台小学校区 14.8%	南城小学校区 10.5%

(3) お子さんの学年

問 宛名のお子さんの学年（令和5年4月1日現在）をお答えください。
（当てはまるもの1つに○）

○ お子さんの学年について、「小学4年生」が29.7%と最も多くなっています。次いで「小学3年生」が27.0%、「小学2年生」が22.2%となっています。

図表 お子さんの学年



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 小学1年生	339	16.2%
2 小学2年生	463	22.2%
3 小学3年生	564	27.0%
4 小学4年生	621	29.7%
無回答	103	4.9%

※調査対象としていない小学5年生、6年生については一旦無回答として集計。

○ 地区・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「小学4年生」が最も高くなっています。

図表 お子さんの学年（地区別・親の就労状況別）

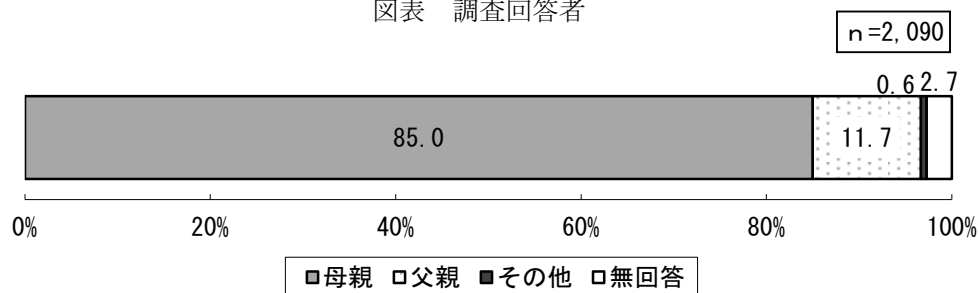
	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	無回答
花巻地区(n=1,551)	17.6%	22.8%	27.4%	29.2%	3.0%
大迫地区(n=49)	18.4%	16.3%	28.6%	34.7%	2.0%
石鳥谷地区(n=262)	13.7%	20.2%	27.9%	34.4%	3.8%
東和地区(n=154)	11.0%	26.0%	27.3%	34.4%	1.3%
共働き(n=1,556)	15.6%	23.1%	27.8%	31.2%	2.3%
どちらかが就労(ひとり親を含む)(n=438)	20.5%	21.0%	27.2%	28.5%	2.7%

(4) 調査回答者

問 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(当てはまるもの1つに○)

○ 調査回答者について、「母親」が85.0%、「父親」が11.7%、「その他」が0.6%となっています。

図表 調査回答者



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 母親	1,776	85.0%
2 父親	244	11.7%
3 その他	13	0.6%
無回答	57	2.7%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「母親」が8割以上となっています。

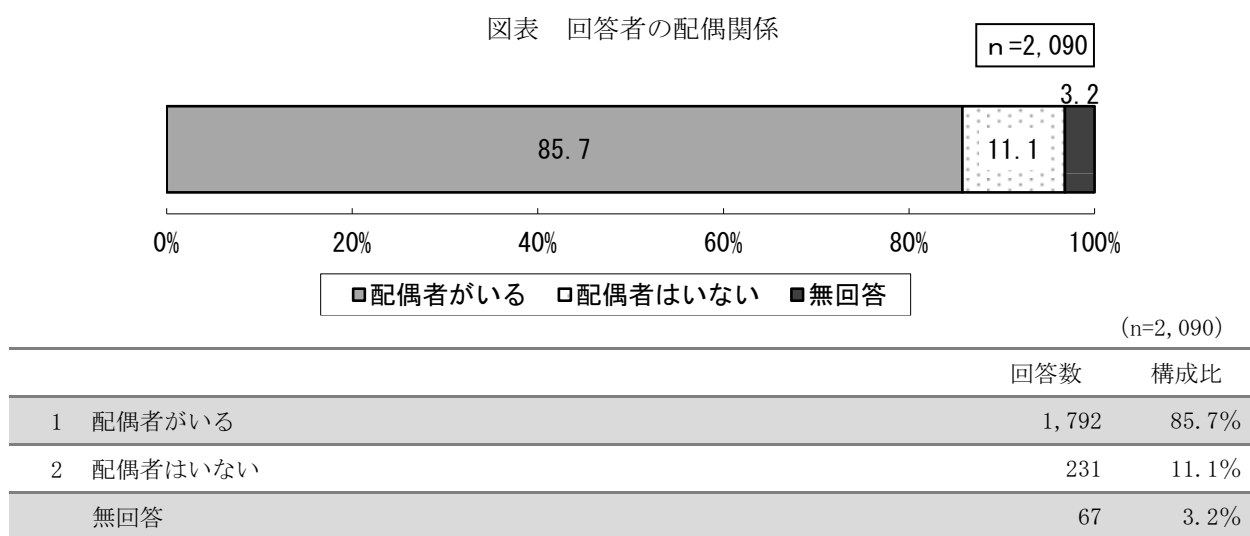
図表 調査回答者（地区別・学年別・親の就労状況別）

	母親	父親	その他	無回答
花巻地区 (n=1,551)	86.2%	12.8%	0.4%	0.6%
大迫地区 (n=49)	93.9%	4.1%	2.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=262)	88.9%	8.0%	1.9%	1.1%
東和地区 (n=154)	85.1%	14.3%	0.6%	0.0%
小学1年生 (n=339)	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%
小学2年生 (n=463)	87.5%	11.2%	0.9%	0.4%
小学3年生 (n=564)	85.6%	13.3%	1.1%	0.0%
小学4年生 (n=621)	88.4%	11.1%	0.5%	0.0%
共働き (n=1,556)	87.1%	12.6%	0.1%	0.1%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	87.9%	11.0%	0.9%	0.2%

(5) 回答者の配偶関係

問 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

○ 回答者の配偶関係について、「配偶者はいる」が85.7%、「配偶者はいない」が11.1%となっています。



○ 地区・学年別でみると、各属性とも回答全体と同様に「配偶者がある」が8割以上となっています。

図表 回答者の配偶関係（地区別・学年別）

	配偶者がある	配偶者はいない	無回答
花巻地区 (n=1,551)	87.9%	11.0%	1.2%
大迫地区 (n=49)	87.8%	12.2%	0.0%
石鳥谷地区 (n=262)	87.8%	10.3%	1.9%
東和地区 (n=154)	87.0%	13.0%	0.0%
小学1年生 (n=339)	86.7%	13.0%	0.3%
小学2年生 (n=463)	90.5%	9.1%	0.4%
小学3年生 (n=564)	89.0%	10.3%	0.7%
小学4年生 (n=621)	86.6%	12.6%	0.8%

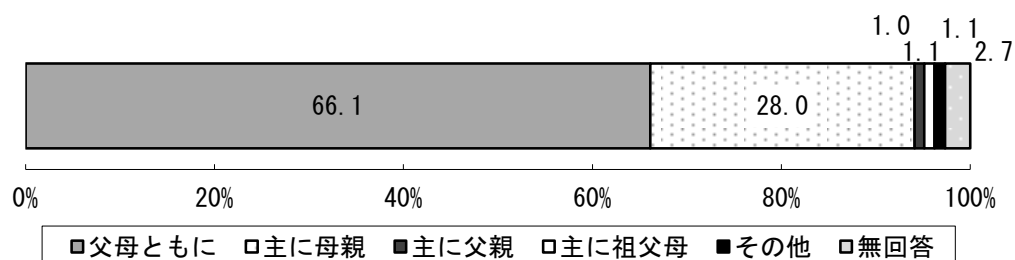
(6) 主に子育てを行っている方

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。
（当てはまるもの1つに○）

○ 主に子育てを行っている方について、「父母ともに」が66.1%と最も多くなっています。次いで「主に母親」が28.0%、「主に祖父母」が1.1%となっています。

図表 主に子育てを行っている方

n=2,090



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 父母ともに	1,382	66.1%
2 主に母親	585	28.0%
3 主に父親	21	1.0%
4 主に祖父母	23	1.1%
5 その他	23	1.1%
無回答	56	2.7%

○ 親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「主に母親」が59.4%と最も高くなっています。

図表 主に子育てを行っている方（地区別・学年別・親の就労状況別）

	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
花巻地区 (n=1,551)	68.1%	28.2%	1.1%	1.2%	0.8%	0.6%
大迫地区 (n=49)	73.5%	20.4%	2.0%	4.1%	0.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=262)	66.8%	28.2%	0.8%	0.0%	3.1%	1.1%
東和地区 (n=154)	63.6%	32.5%	0.6%	1.9%	1.3%	0.0%
小学1年生 (n=339)	62.5%	34.2%	1.5%	0.6%	1.2%	0.0%
小学2年生 (n=463)	68.5%	28.7%	0.2%	1.1%	1.5%	0.0%
小学3年生 (n=564)	69.5%	27.1%	1.4%	0.7%	1.2%	0.0%
小学4年生 (n=621)	69.9%	27.1%	1.0%	1.3%	0.6%	0.2%
共働き (n=1,556)	78.7%	19.7%	0.1%	0.7%	0.7%	0.1%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	32.6%	59.4%	4.3%	1.8%	1.8%	0.0%

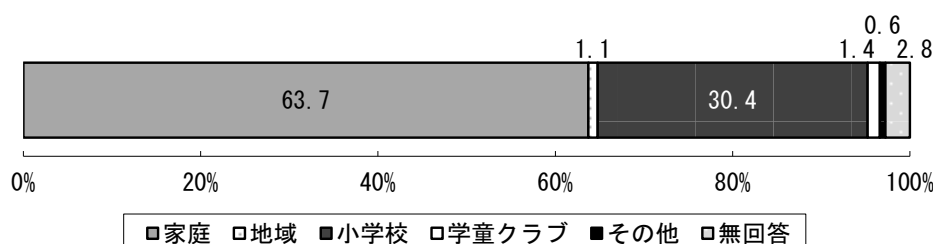
(7) 子育てに最も影響する環境

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境についてお答えください。（当てはまるもの1つに○）

○ 子育てに最も影響する環境について、「家庭」が63.7%と最も多くなっています。次いで「小学校」が30.4%、「学童クラブ」が1.4%となっています。

図表 子育てに最も影響する環境

n=2,090



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 家庭	1,332	63.7%
2 地域	22	1.1%
3 小学校	636	30.4%
4 学童クラブ	29	1.4%
5 その他	13	0.6%
無回答	58	2.8%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「家庭」が最も高くなっています。

図表 子育てに最も影響する環境（地区別・学年別・親の就労状況別）

	家庭	地域	小学校	学童クラブ	その他	無回答
花巻地区 (n=1,551)	64.7%	1.0%	31.1%	1.7%	0.8%	0.7%
大迫地区 (n=49)	71.4%	0.0%	26.5%	2.0%	0.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=262)	63.4%	1.1%	33.2%	0.8%	0.4%	1.1%
東和地区 (n=154)	70.1%	1.9%	27.9%	0.0%	0.0%	0.0%
小学1年生 (n=339)	64.9%	1.2%	30.1%	3.8%	0.0%	0.0%
小学2年生 (n=463)	62.9%	2.2%	33.0%	1.1%	0.6%	0.2%
小学3年生 (n=564)	65.6%	0.7%	31.4%	1.4%	0.7%	0.2%
小学4年生 (n=621)	67.3%	0.5%	30.8%	0.5%	0.8%	0.2%
共働き (n=1,556)	66.1%	1.0%	30.3%	1.5%	0.7%	0.3%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	62.8%	1.4%	34.2%	1.1%	0.5%	0.0%

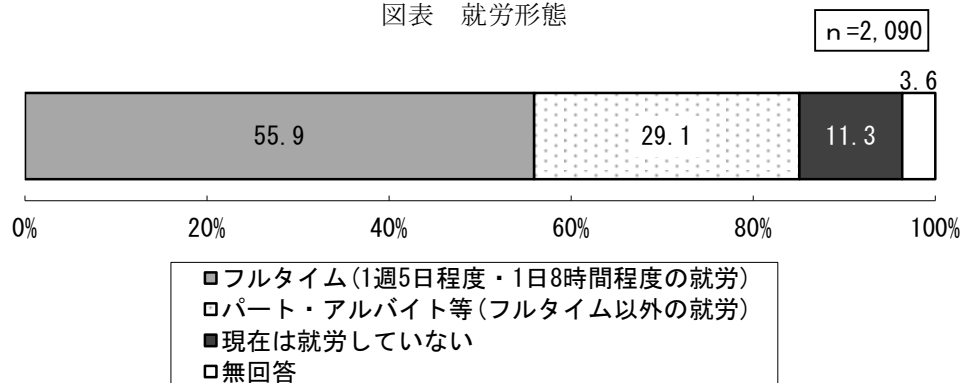
2 母親の就労状況について

(1) 就労形態

問 就労形態についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

○ 就労形態について、「フルタイム」が55.9%、「パート・アルバイト等」が29.1%、「現在は就労していない」が11.3%となっています。

図表 就労形態



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1,169	55.9%
2 パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)	609	29.1%
3 現在は就労していない	236	11.3%
無回答	76	3.6%

○ 学年別でみると、「フルタイム」と回答した1年生は54.6%、4年生は62.2%と、学年を重ねるごとに割合が高くなる傾向がみられます。

図表 就労形態(地区別・学年別・親の就労状況別)

	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	パート・アルバイト等 (フルタイム以外の就労)	現在は就労していない	無回答
花巻地区(n=1,551)	57.1%	29.4%	11.9%	1.5%
大迫地区(n=49)	69.4%	22.4%	6.1%	2.0%
石鳥谷地区(n=262)	54.6%	34.4%	8.8%	2.3%
東和地区(n=154)	57.1%	29.9%	12.3%	0.6%
小学1年生(n=339)	54.6%	27.1%	17.1%	1.2%
小学2年生(n=463)	54.4%	32.6%	11.9%	1.1%
小学3年生(n=564)	56.4%	30.7%	11.7%	1.2%
小学4年生(n=621)	62.2%	28.5%	8.5%	0.8%
共働き(n=1,556)	63.8%	36.2%	0.0%	0.0%
どちらかが就労 (ひとり親を含む)(n=438)	37.9%	8.7%	50.5%	3.0%

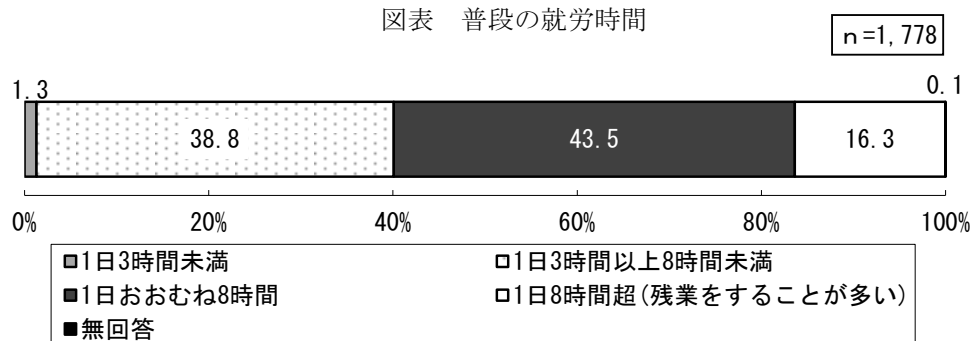
(2) 普段の就労時間

問 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

【(1) で「1」または「2」を選んだ方のみ回答】

- 普段の就労時間について、「1 日おおむね 8 時間」が 43.5%と最も多くなっています。次いで「1 日 3 時間以上 8 時間未満」が 38.8%、「1 日 8 時間超」が 16.3%となっています。

図表 普段の就労時間



	回答数	構成比
1 1 日 3 時間未満	23	1.3%
2 1 日 3 時間以上 8 時間未満	690	38.8%
3 1 日 おおむね 8 時間	774	43.5%
4 1 日 8 時間超 (残業をすることが多い)	290	16.3%
無回答	1	0.1%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「1 日おおむね 8 時間」が 58.8%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 普段の就労時間 (地区別・学年別・親の就労状況別)

	1 日 3 時間未満	1 日 3 時間以上 8 時間未満	1 日 おおむね 8 時間	1 日 8 時間超 (残業をすることが多い)	無回答
花巻地区 (n=1,342)	1.4%	38.9%	43.6%	16.0%	0.1%
大迫地区 (n=45)	4.4%	24.4%	51.1%	20.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=233)	0.4%	44.2%	39.1%	16.3%	0.0%
東和地区 (n=134)	0.7%	35.8%	44.8%	18.7%	0.0%
小学 1 年生 (n=277)	0.0%	40.1%	45.5%	14.4%	0.0%
小学 2 年生 (n=403)	1.5%	44.2%	41.4%	12.9%	0.0%
小学 3 年生 (n=491)	2.0%	37.9%	45.6%	14.3%	0.2%
小学 4 年生 (n=563)	1.2%	34.8%	42.6%	21.3%	0.0%
共働き (n=1,556)	1.4%	41.0%	41.7%	15.9%	0.0%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=204)	0.5%	22.5%	58.8%	17.6%	0.5%

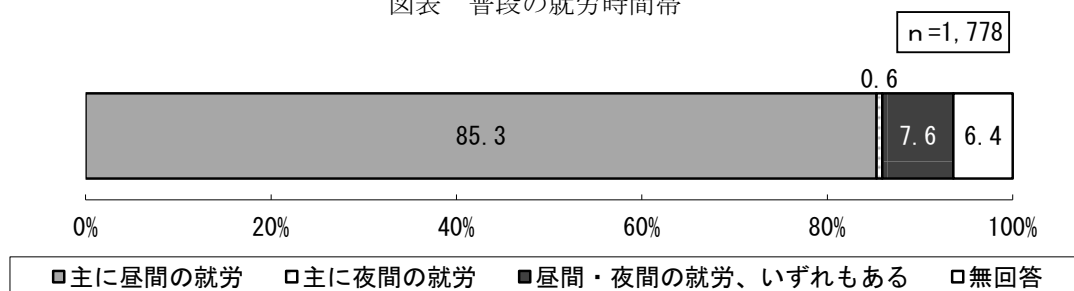
(3) 普段の就労時間帯

問 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

【(1) で「1」または「2」を選んだ方のみ回答】

○ 普段の就労時間帯について、「主に昼間の就労」が 85.3%、「主に夜間の就労」が 0.6%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 7.6%となっています。

図表 普段の就労時間帯



(n=1,778)

	回答数	構成比
1 主に昼間の就労	1,517	85.3%
2 主に夜間の就労	11	0.6%
3 昼間・夜間の就労、いずれもある	136	7.6%
無回答	114	6.4%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「主に昼間の就労」が 79.4%と、他属性と比較し割合が低くなっています。

図表 普段の就労時間帯（地区別・学年別・親の就労状況別）

	主に昼間の就労	主に夜間の就労	昼間・夜間の就労、 いずれもある	無回答
花巻地区 (n=1,342)	85.1%	0.8%	7.7%	6.3%
大迫地区 (n=45)	91.1%	0.0%	4.4%	4.4%
石鳥谷地区 (n=233)	87.1%	0.0%	7.7%	5.2%
東和地区 (n=134)	85.8%	0.0%	9.0%	5.2%
小学1年生 (n=277)	84.5%	0.7%	6.1%	8.7%
小学2年生 (n=403)	86.1%	0.5%	9.4%	4.0%
小学3年生 (n=491)	85.5%	0.8%	6.3%	7.3%
小学4年生 (n=563)	84.0%	0.5%	8.9%	6.6%
共働き (n=1,556)	86.3%	0.6%	6.9%	6.2%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=204)	79.4%	0.5%	12.3%	7.8%

(4) フルタイム就労への希望

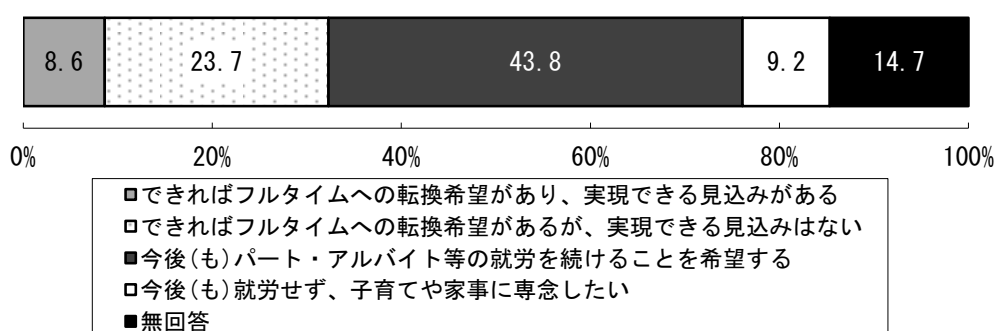
問 今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。(当てはまるもの1つに○)

【(1) で「2」または「3」を選んだ方のみ回答】

- フルタイム就労への希望について、「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が43.8%と最も多くなっています。次いで「できればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が23.7%、「今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい」が9.2%となっています。

図表 フルタイム就労への希望

n=845



(n=845)

	回答数	構成比
1 できればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	73	8.6%
2 できればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	200	23.7%
3 今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	370	43.8%
4 今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい	78	9.2%
無回答	124	14.7%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が最も高くなっています。
- また、どちらかが就労している世帯は「今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい」が26.6%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 フルタイム就労への希望（地区別・学年別・親の就労状況別）

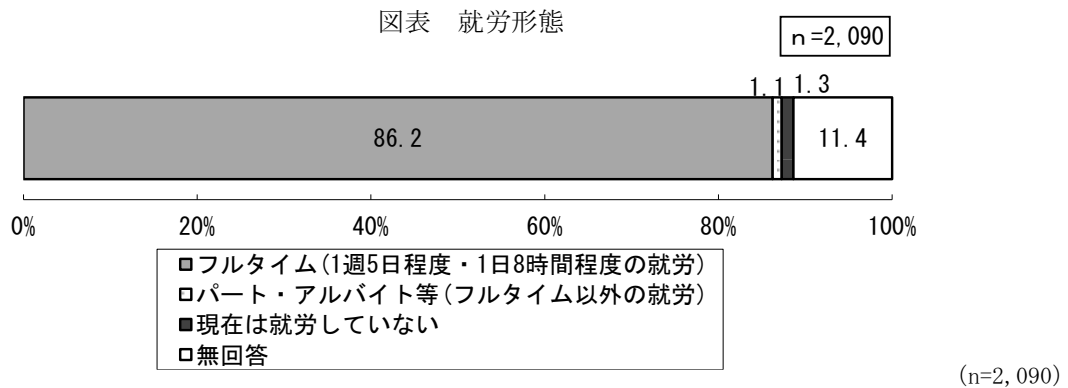
	できればフルタイムへの 転換希望があり、 実現できる見込みがある	できればフルタイムへの 転換希望があるが、 実現できる見込みはない	今後(も)パート・アルバイ ト等の就労を続ける ことを希望する	今後(も)就労せず、子育 てや家事に専念したい	無回答
花巻地区 (n=641)	9.0%	23.1%	43.7%	9.8%	14.4%
大迫地区 (n=14)	0.0%	35.7%	35.7%	0.0%	28.6%
石鳥谷地区 (n=113)	7.1%	26.5%	44.2%	8.0%	14.2%
東和地区 (n=65)	7.7%	20.0%	46.2%	7.7%	18.5%
小学1年生 (n=150)	10.0%	24.7%	43.3%	8.0%	14.0%
小学2年生 (n=206)	11.7%	20.4%	44.2%	6.8%	17.0%
小学3年生 (n=239)	5.4%	26.4%	40.6%	12.6%	15.1%
小学4年生 (n=230)	8.3%	21.7%	47.8%	9.1%	13.0%
共働き (n=564)	9.6%	24.1%	47.0%	0.7%	18.6%
どちらかが就労(ひとり親を含む) (n=259)	7.3%	23.9%	36.3%	26.6%	5.8%

3 父親の就労状況について

(1) 就労形態

問 就労形態についてお答えください。(当てはまるもの1つに○)

○ 就労形態について、「フルタイム」が 86.2%、「パート・アルバイト等」が 1.1%、「現在は就労していない」が 1.3%となっています。



	回答数	構成比
1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1,802	86.2%
2 パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)	22	1.1%
3 現在は就労していない	28	1.3%
無回答	238	11.4%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「フルタイム」が 53.7%と、他属性と比較し割合が低くなっています。

図表 就労形態 (地区別・学年別・親の就労状況別)

	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	パート・アルバイト等 (フルタイム以外の就労)	現在は就労していない	無回答
花巻地区(n=1,551)	87.4%	0.7%	1.5%	10.4%
大迫地区(n=49)	81.6%	2.0%	4.1%	12.2%
石鳥谷地区(n=262)	87.4%	1.5%	0.4%	10.7%
東和地区(n=154)	85.7%	1.9%	0.0%	12.3%
小学1年生(n=339)	85.3%	1.2%	1.8%	11.8%
小学2年生(n=463)	88.6%	1.3%	1.1%	9.1%
小学3年生(n=564)	89.0%	0.7%	1.4%	8.9%
小学4年生(n=621)	86.5%	0.8%	1.1%	11.6%
共働き(n=1,556)	99.0%	1.0%	0.0%	0.0%
どちらかが就労 (ひとり親を含む)(n=438)	53.7%	0.9%	3.9%	41.6%

(2) 普段の就労時間

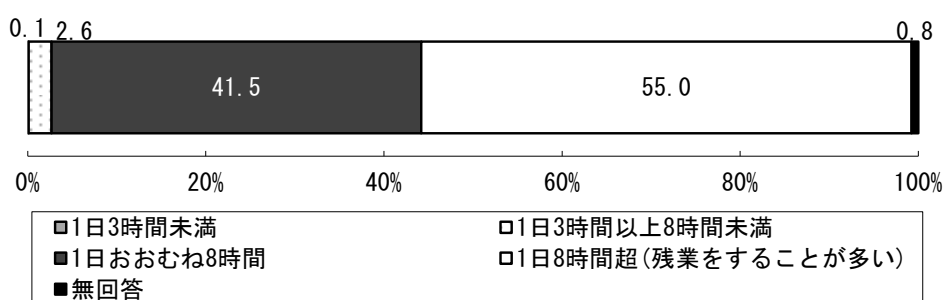
問 普段の就労時間について、最も多いパターンをお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

【(1) で「1」または「2」を選んだ方のみ回答】

○ 普段の就労時間について、「1日8時間超」が55.0%と最も多くなっています。次いで「1日おおむね8時間」が41.5%、「1日3時間以上8時間未満」が2.6%となっています。

図表 普段の就労時間

n=1,824



(n=1,824)

	回答数	構成比
1 1日3時間未満	2	0.1%
2 1日3時間以上8時間未満	47	2.6%
3 1日おおむね8時間	757	41.5%
4 1日8時間超 (残業をすることが多い)	1,004	55.0%
無回答	14	0.8%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、大迫地区は「1日8時間超」が41.5%と、他属性と比較し割合が低くなっています。

図表 普段の就労時間 (地区別・学年別・親の就労状況別)

	1日3時間未満	1日3時間以上8時間未満	1日おおむね8時間	1日8時間超 (残業をすることが多い)	無回答
花巻地区 (n=1,367)	0.1%	2.4%	40.2%	56.5%	0.7%
大迫地区 (n=41)	0.0%	2.4%	56.1%	41.5%	0.0%
石鳥谷地区 (n=233)	0.0%	3.0%	42.1%	53.6%	1.3%
東和地区 (n=135)	0.0%	2.2%	46.7%	50.4%	0.7%
小学1年生 (n=293)	0.0%	2.7%	46.1%	50.9%	0.3%
小学2年生 (n=416)	0.0%	2.6%	39.2%	57.0%	1.2%
小学3年生 (n=506)	0.2%	2.8%	40.5%	56.1%	0.4%
小学4年生 (n=542)	0.2%	1.8%	42.3%	54.6%	1.1%
共働き (n=1,556)	0.0%	2.2%	42.5%	54.9%	0.3%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=239)	0.8%	4.2%	35.6%	55.6%	3.8%

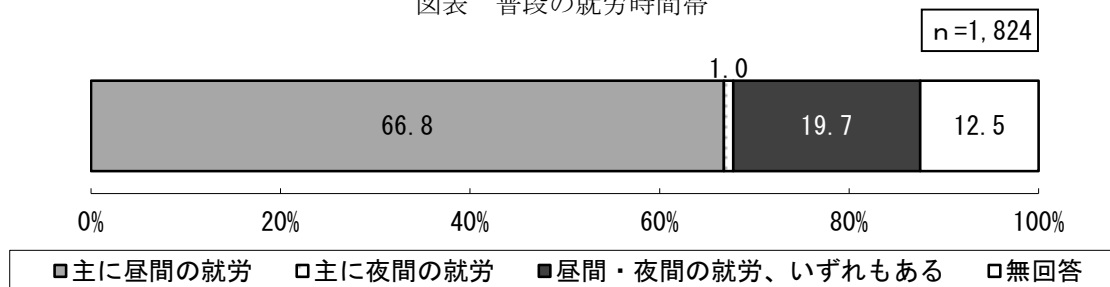
(3) 普段の就労時間帯

問 普段の就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

【(1) で「1」または「2」を選んだ方のみ回答】

○ 普段の就労時間帯について、「主に昼間の就労」が 66.8%、「主に夜間の就労」が 1.0%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 19.7%となっています。

図表 普段の就労時間帯



(n=1,824)

	回答数	構成比
1 主に昼間の就労	1,218	66.8%
2 主に夜間の就労	18	1.0%
3 昼間・夜間の就労、いずれもある	360	19.7%
無回答	228	12.5%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「主に昼間の就労」が最も高くなっています。

図表 普段の就労時間帯（地区別・学年別・親の就労状況別）

	主に昼間の就労	主に夜間の就労	昼間・夜間の就労、 いずれもある	無回答
花巻地区 (n=1,367)	66.0%	1.1%	20.0%	12.9%
大迫地区 (n=41)	75.6%	0.0%	19.5%	4.9%
石鳥谷地区 (n=233)	68.2%	0.9%	18.5%	12.4%
東和地区 (n=135)	71.9%	0.0%	18.5%	9.6%
小学1年生 (n=293)	68.9%	1.4%	18.1%	11.6%
小学2年生 (n=416)	63.7%	0.7%	23.1%	12.5%
小学3年生 (n=506)	67.4%	0.6%	19.0%	13.0%
小学4年生 (n=542)	67.0%	1.1%	19.2%	12.7%
共働き (n=1,556)	67.4%	1.0%	19.7%	11.9%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=239)	64.4%	0.8%	18.8%	15.9%

(4) フルタイム就労への希望

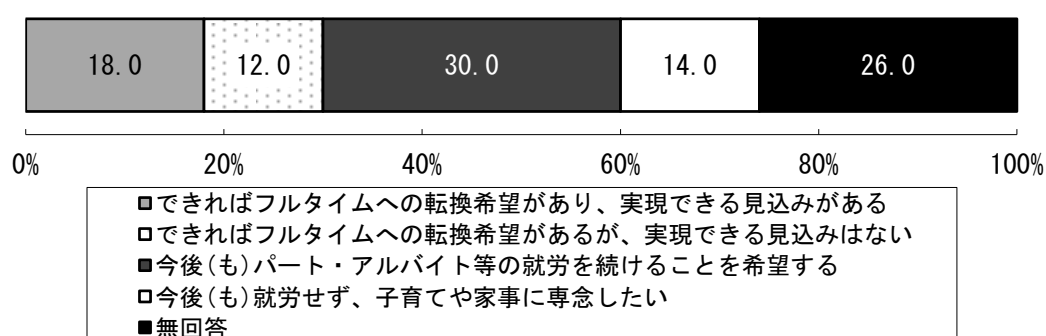
問 今後、フルタイム就労への転換を希望されますか。(当てはまるもの1つに○)

【(1) で「2」または「3」を選んだ方のみ回答】

- フルタイム就労への希望について、「今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が30.0%と最も多くなっています。次いで「できればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が18.0%、「今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい」が14.0%となっています。

図表 フルタイム就労への希望

n=50



(n=50)

	回答数	構成比
1 できればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	9	18.0%
2 できればフルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない	6	12.0%
3 今後(も)パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	15	30.0%
4 今後(も)就労せず、子育てや家事に専念したい	7	14.0%
無回答	13	26.0%

- 学年別でみると、「できればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答した1年生は10.0%、4年生は25.0%と、学年を重ねるごとに割合が高くなる傾向がみられます。

図表 フルタイム就労への希望（地区別・学年別・親の就労状況別）

	できればフルタイムへの 転換希望があり、 実現できる見込みがある	できればフルタイムへの 転換希望があるが、 実現できる見込みはない	今後（も）パート・アルバ イト等の就労を続ける ことを希望する	今後（も）就労せず、子育 てや家事に専念したい	無回答
花巻地区 (n=34)	17.6%	2.9%	23.5%	20.6%	35.3%
大迫地区 (n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=5)	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
東和地区 (n=3)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
小学1年生 (n=10)	10.0%	20.0%	40.0%	30.0%	0.0%
小学2年生 (n=11)	18.2%	0.0%	27.3%	9.1%	45.5%
小学3年生 (n=12)	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%
小学4年生 (n=12)	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	41.7%
共働き (n=15)	13.3%	20.0%	33.3%	0.0%	33.3%
どちらかが就労（ひとり 親を含む） (n=21)	28.6%	9.5%	23.8%	14.3%	23.8%

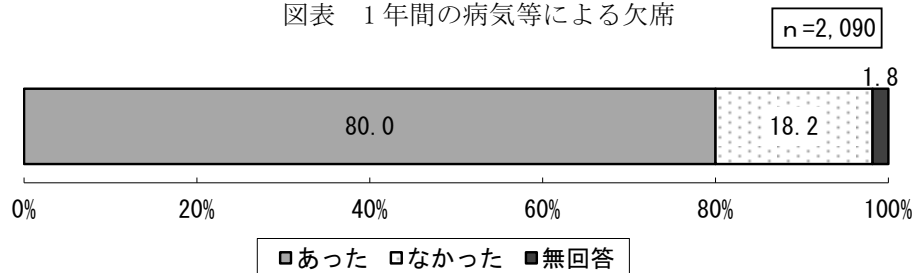
4 お子さんの病気やけがの際の対応について

(1) 1年間の病気等による欠席

問 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありましたか。
(当てはまるもの1つに○)

○ 1年間の病気等による欠席について、「あった」が80.0%、「なかった」が18.2%となっています。

図表 1年間の病気等による欠席



(n=2,090)		
	回答数	構成比
1 あった	1,672	80.0%
2 なかった	380	18.2%
無回答	38	1.8%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「あった」が7割以上となっています。

○ また、東和地区は「あった」が92.2%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 1年間の病気等による欠席（地区別・学年別・親の就労状況別）

	あった	なかった	無回答
花巻地区 (n=1,551)	80.3%	18.5%	1.2%
大迫地区 (n=49)	71.4%	28.6%	0.0%
石鳥谷地区 (n=262)	77.5%	20.6%	1.9%
東和地区 (n=154)	92.2%	7.8%	0.0%
小学1年生 (n=339)	85.0%	14.5%	0.6%
小学2年生 (n=463)	81.6%	17.1%	1.3%
小学3年生 (n=564)	80.5%	19.0%	0.5%
小学4年生 (n=621)	79.2%	20.3%	0.5%
共働き (n=1,556)	81.2%	18.5%	0.3%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	81.7%	17.6%	0.7%

(2) 学校を休んだ際の対応

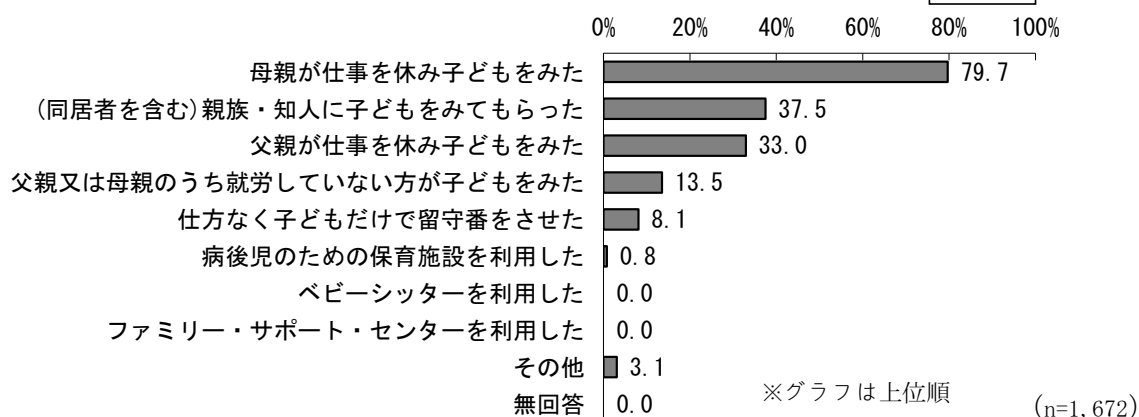
問 宛名のお子さんがこの1年間に病気やケガで学校を休んだ期間に、どのように対応しましたか。(当てはまるものすべてに○)

【(1) で「1.」を選んだ方のみ回答】

○ 学校を休んだ際の対応について、「母親が仕事を休み子どもをみた」が79.7%と最も多くなっています。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が37.5%、「父親が仕事を休み子どもをみた」が33.0%となっています。

図表 学校を休んだ際の対応

n=1,672



	回答数	構成比
1 父親が仕事を休み子どもをみた	551	33.0%
2 母親が仕事を休み子どもをみた	1,332	79.7%
3 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	627	37.5%
4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	226	13.5%
5 病後児のための保育施設を利用した	13	0.8%
6 ベビーシッターを利用した	0	0.0%
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	135	8.1%
9 その他	51	3.1%
無回答	0	0.0%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 46.1%と最も高くなっています。

図表 学校を休んだ際の対応（地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
花巻地区 (n=1,245)	母親が仕事を休み 子どもをみた 79.6%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 35.4%	父親が仕事を休み 子どもをみた 33.8%
大迫地区(n=35)	母親が仕事を休み 子どもをみた 74.3%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 57.1%	父親が仕事を休み 子どもをみた 28.6%
石鳥谷地区 (n=203)	母親が仕事を休み 子どもをみた 81.3%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 45.3%	父親が仕事を休み 子どもをみた 30.0%
東和地区(n=142)	母親が仕事を休み 子どもをみた 78.2%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 43.0%	父親が仕事を休み 子どもをみた 33.8%
小学1年生 (n=288)	母親が仕事を休み 子どもをみた 76.7%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 37.5%	父親が仕事を休み 子どもをみた 34.4%
小学2年生 (n=378)	母親が仕事を休み 子どもをみた 83.9%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 39.4%	父親が仕事を休み 子どもをみた 34.4%
小学3年生 (n=454)	母親が仕事を休み 子どもをみた 78.4%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 38.1%	父親が仕事を休み 子どもをみた 30.0%
小学4年生 (n=492)	母親が仕事を休み 子どもをみた 78.5%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 35.2%	父親が仕事を休み 子どもをみた 34.1%
共働き(n=1,263)	母親が仕事を休み 子どもをみた 90.9%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 41.9%	父親が仕事を休み 子どもをみた 40.0%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=358)	父親又は母親のうち就労し ていない方が子どもをみた 46.1%	母親が仕事を休み 子どもをみた 44.1%	(同居者を含む)親族・知人 に子どもをみてもらった 23.2%

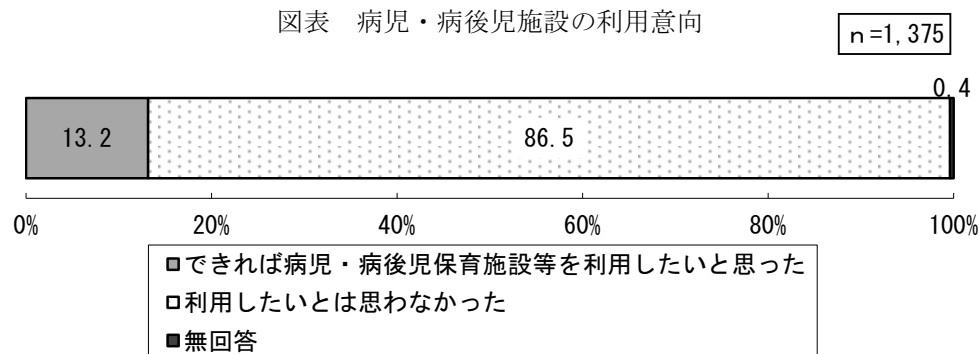
(3) 病児・病後児施設の利用意向

問 その際、「できれば病児・病後児のための預かり施設等を利用したい」と思われましたか。(当てはまるもの1つに○)

【(2) で「1.」または「2.」を選んだ方のみ回答】

○ 病児・病後児施設の利用意向について、「できれば病児・病後児施設等を利用したいと思った」が13.2%、「利用したいとは思わなかった」が86.5%となっています。

図表 病児・病後児施設の利用意向



(n=1,375)

	回答数	構成比
1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った	181	13.2%
2 利用したいとは思わなかった	1,189	86.5%
無回答	5	0.4%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「利用したいとは思わなかった」が8割以上となっています。

図表 病児・病後児施設の利用意向（地区別・学年別・親の就労状況別）

	できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った	利用したいとは思わなかった	無回答
花巻地区 (n=1,021)	13.9%	85.7%	0.4%
大迫地区 (n=26)	15.4%	84.6%	0.0%
石鳥谷地区 (n=170)	12.4%	87.1%	0.6%
東和地区 (n=119)	9.2%	90.8%	0.0%
小学1年生 (n=229)	18.8%	80.3%	0.9%
小学2年生 (n=321)	15.6%	84.4%	0.0%
小学3年生 (n=373)	9.9%	89.5%	0.5%
小学4年生 (n=400)	11.8%	88.0%	0.3%
共働き (n=1,168)	13.2%	86.4%	0.4%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=181)	14.4%	85.6%	0.0%

○ また、利用したいと回答した方の「利用したい日数」について、平均は 4.51 日となっています。

図表 利用したい日数

	(n=181)
	値
平 均：(日)	4.51
最 大：(日)	15.00
最 小：(日)	1.00

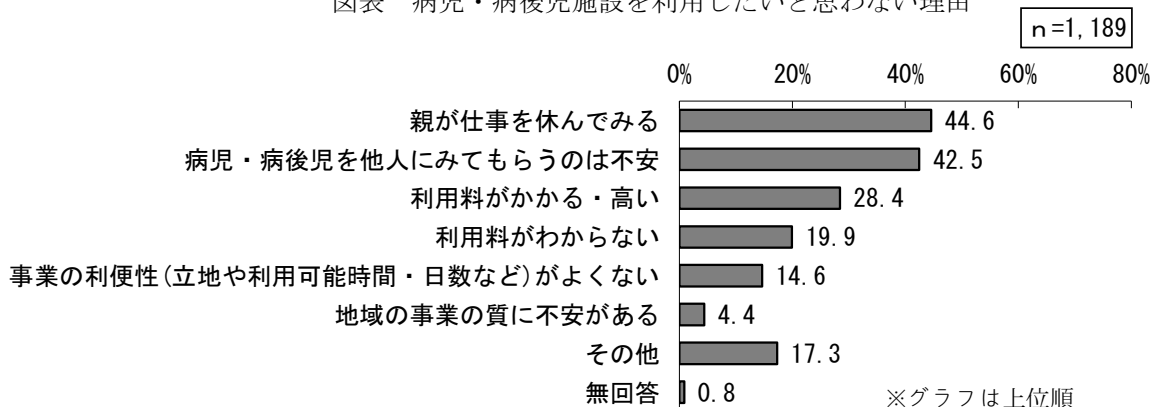
(4) 病児・病後児施設を利用したいと思わない理由

問 病児・病後児のための預かり施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。
(当てはまるものすべてに○)

【(3) で「2.」を選んだ方のみ回答】

○ 病児・病後児施設を利用したいと思わない理由について、「親が仕事を休んでみる」が 44.6%と最も多くなっています。次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 42.5%、「利用料がかかる・高い」が 28.4%となっています。

図表 病児・病後児施設を利用したいと思わない理由



	回答数	構成比
1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	505	42.5%
2 地域の事業の質に不安がある	52	4.4%
3 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	174	14.6%
4 利用料がかかる・高い	338	28.4%
5 利用料がわからない	237	19.9%
6 親が仕事を休んでみる	530	44.6%
7 その他	206	17.3%
無回答	10	0.8%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも「親が仕事を休んでみる」、「児・病後児を他人にみてもらうのは不安」を上位に挙げています。

図表 病児・病後児施設を利用したいと思わない理由
(地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
花巻地区 (n=875)	親が仕事を休んでみる 45.9%	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 43.0%	利用料がかかる・高い 28.7%
大迫地区 (n=22)	親が仕事を休んでみる 50.0%	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 27.3%	事業の利便性(立地や利用可能時 間・日数など)がよくない・ 利用料がかかる・高い 22.7% (同率)
石鳥谷地区 (n=148)	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 41.9%	親が仕事を休んでみる 39.2%	利用料がかかる・高い 30.4%
東和地区 (n=108)	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 42.6%	親が仕事を休んでみる 38.9%	事業の利便性(立地や利用可能時 間・日数など)がよくない・ 利用料がかかる・高い 22.2% (同率)
小学1年生 (n=184)	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 48.4%	親が仕事を休んでみる 44.6%	利用料がかかる・高い 29.9%
小学2年生 (n=271)	親が仕事を休んでみる 49.4%	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 40.2%	利用料がかかる・高い 24.0%
小学3年生 (n=334)	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 46.1%	親が仕事を休んでみる 45.2%	利用料がかかる・高い 29.0%
小学4年生 (n=352)	親が仕事を休んでみる 41.2%	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 38.4%	利用料がかかる・高い 29.8%
共働き (n=1,009)	親が仕事を休んでみる 44.9%	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 43.5%	利用料がかかる・高い 27.3%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=155)	親が仕事を休んでみる 41.3%	病児・病後児を他人に みてもらうのは不安 38.1%	利用料がかかる・高い 36.1%

(5) 仕事を休んで対応することへの希望

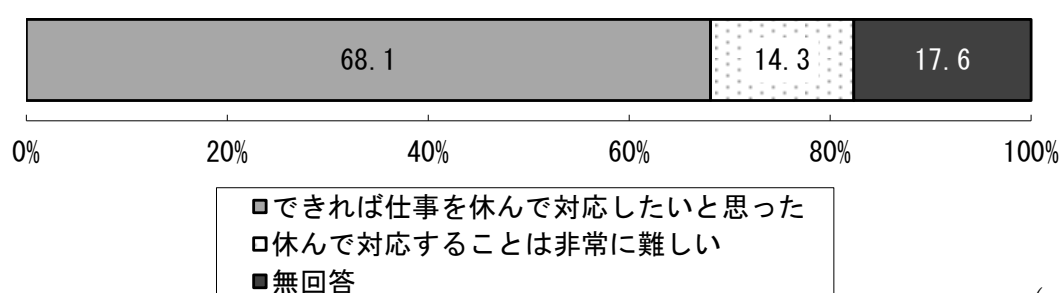
問 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで対応したい」と思われましたか。
(当てはまるもの1つに○)

【(2) で「3.」～「9.」を選んだ方のみ回答】

○ 仕事を休んで対応することへの希望について、「できれば仕事を休んで対応したい」と思った」が68.1%、「休んで対応することは非常に難しい」が14.3%となっています。

図表 仕事を休んで対応することへの希望

n=953



(n=953)

	回答数	構成比
1 できれば仕事を休んで対応したいと思った	649	68.1%
2 休んで対応することは非常に難しい	136	14.3%
無回答	168	17.6%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「休んで対応することは非常に難しい」が21.3%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 仕事を休んで対応することへの希望（地区別・学年別・親の就労状況別）

	できれば仕事を休んで対応したいと思った	休んで対応することは非常に難しい	無回答
花巻地区 (n=687)	66.1%	14.1%	19.8%
大迫地区 (n=26)	76.9%	11.5%	11.5%
石鳥谷地区 (n=128)	70.3%	16.4%	13.3%
東和地区 (n=91)	79.1%	9.9%	11.0%
小学1年生 (n=173)	69.4%	10.4%	20.2%
小学2年生 (n=207)	66.7%	15.9%	17.4%
小学3年生 (n=263)	63.9%	15.2%	20.9%
小学4年生 (n=277)	72.6%	14.4%	13.0%
共働き (n=649)	74.3%	10.6%	15.1%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=267)	56.6%	21.3%	22.1%

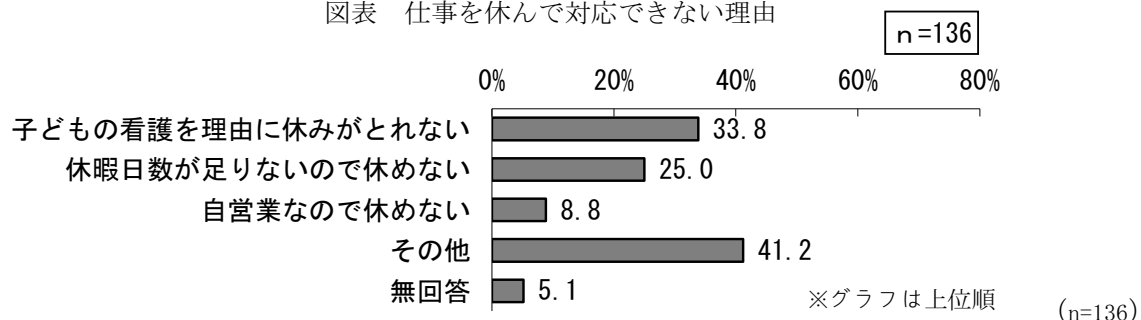
(6) 仕事を休んで対応できない理由

問 休んで対応することが非常に難しい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

【(5) で「2.」を選んだ方のみ回答】

○ 仕事を休んで対応できない理由について、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が33.8%と最も多くなっています。次いで「休暇日数が足りないので休めない」が25.0%、「自営業なので休めない」が8.8%となっています。

図表 仕事を休んで対応できない理由



	回答数	構成比
1 子どもの看護を理由に休みがとれない	46	33.8%
2 自営業なので休めない	12	8.8%
3 休暇日数が足りないので休めない	34	25.0%
4 その他	56	41.2%
無回答	7	5.1%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、どちらかが就労している世帯は「子どもの看護を理由に休みがとれない」が42.1%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 仕事を休んで対応できない理由（地区別・学年別・親の就労状況別）

	子どもの看護を理由に休みがとれない	自営業なので休めない	休暇日数が足りないので休めない	その他	無回答
花巻地区 (n=97)	33.0%	11.3%	25.8%	40.2%	5.2%
大迫地区 (n=3)	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
石鳥谷地区 (n=21)	38.1%	0.0%	14.3%	42.9%	9.5%
東和地区 (n=9)	33.3%	11.1%	33.3%	44.4%	0.0%
小学1年生 (n=18)	27.8%	16.7%	22.2%	27.8%	22.2%
小学2年生 (n=33)	33.3%	6.1%	24.2%	45.5%	3.0%
小学3年生 (n=40)	35.0%	12.5%	32.5%	32.5%	5.0%
小学4年生 (n=40)	37.5%	5.0%	20.0%	50.0%	0.0%
共働き (n=69)	30.4%	13.0%	31.9%	39.1%	1.4%
どちらかが就労(ひとり親を含む) (n=57)	42.1%	3.5%	17.5%	43.9%	7.0%

5 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

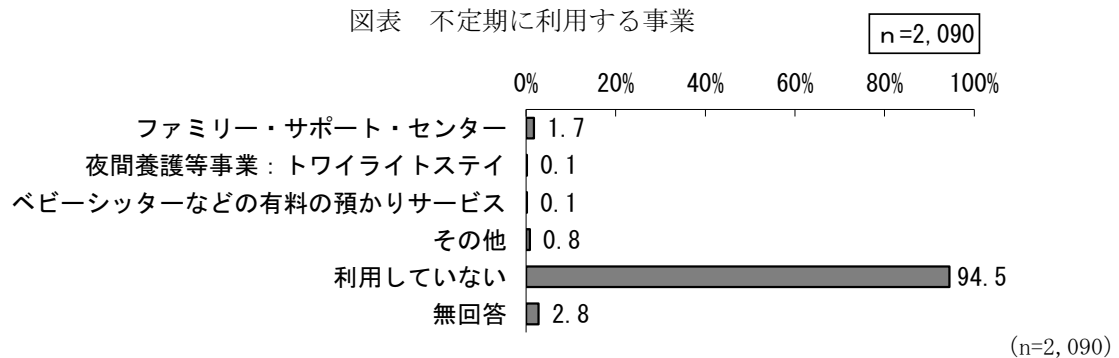
(1) 不定期に利用する事業

問 宛名のお子さんについて、病気による預かり以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で不定期に利用している事業はありますか。(当てはまるものすべてに○)

○ 不定期に利用する事業について、「ファミリー・サポート・センター」が1.7%と最も多くなっています。

○ また、「利用していない」は94.5%となっています。

図表 不定期に利用する事業



	回答数	構成比
1 ファミリー・サポート・センター	36	1.7%
2 夜間養護等事業：トワイライトステイ	3	0.1%
3 ベビーシッターなどの有料の預かりサービス	3	0.1%
4 その他	17	0.8%
5 利用していない	1,975	94.5%
無回答	58	2.8%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも「利用していない」が9割以上となっています。

図表 不定期に利用する事業（地区別・学年別・親の就労状況別）

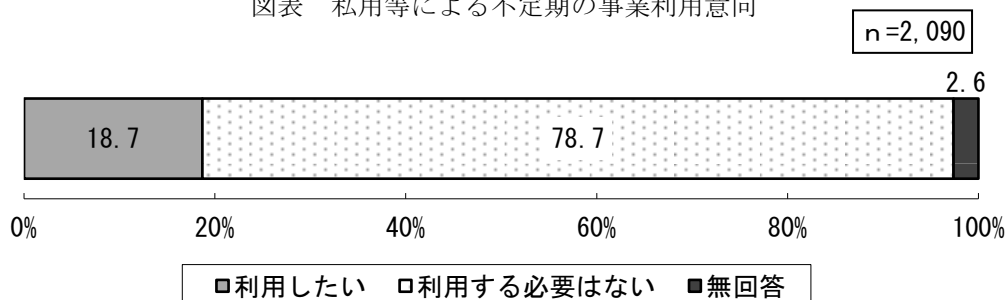
	サポート・ファミリー・センター	ショートステイ・トワイライトステイ	ベビーシッターなどの有料の預かりサービス	その他	利用していない	無回答
花巻地区 (n=1,551)	1.9%	0.1%	0.2%	0.8%	94.6%	2.4%
大迫地区 (n=49)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=262)	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	97.3%	1.9%
東和地区 (n=154)	3.2%	0.0%	0.0%	1.3%	94.8%	0.6%
小学1年生 (n=339)	1.8%	0.0%	0.3%	0.6%	95.3%	2.1%
小学2年生 (n=463)	1.5%	0.2%	0.4%	1.3%	95.2%	1.5%
小学3年生 (n=564)	2.0%	0.2%	0.0%	0.9%	95.9%	1.2%
小学4年生 (n=621)	1.6%	0.0%	0.0%	0.6%	96.3%	1.4%
共働き (n=1,556)	1.8%	0.2%	0.1%	0.9%	95.4%	1.7%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	1.8%	0.0%	0.2%	0.7%	96.3%	0.9%

(2) 私用等による不定期の事業利用意向

問 私用、親の通院、不定期の就労等の目的による不定期の事業を利用したいと思いますか。(当てはまるもの1つに○)

○ 私用等による不定期の事業利用意向について、「利用したい」が18.7%、「利用する必要はない」が78.7%となっています。

図表 私用等による不定期の事業利用意向



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 利用したい	391	18.7%
2 利用する必要はない	1,644	78.7%
無回答	55	2.6%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「利用する必要はない」が7割以上となっています。

図表 私用等による不定期の事業利用意向（地区別・学年別・親の就労状況別）

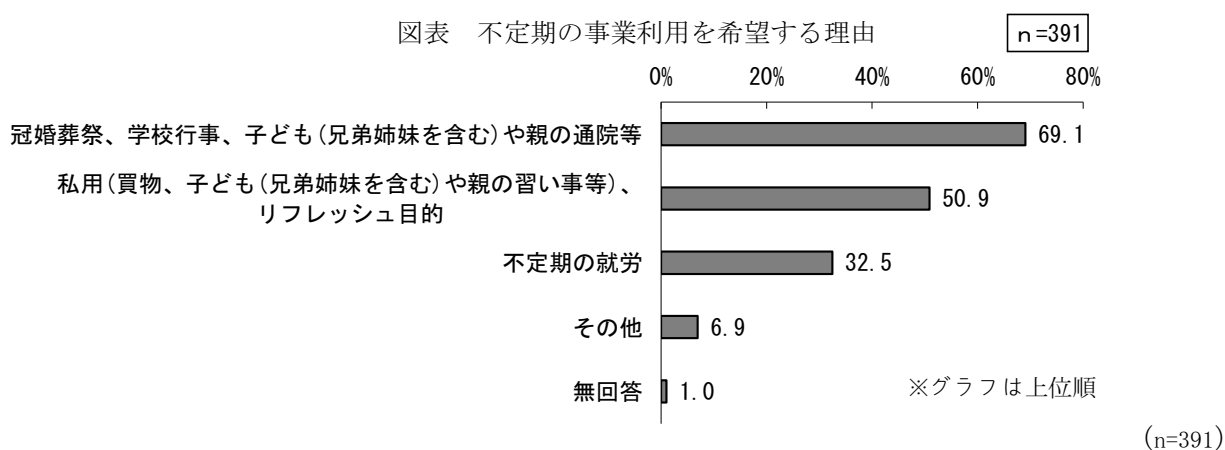
	利用したい	利用する必要はない	無回答
花巻地区(n=1,551)	19.0%	78.9%	2.2%
大迫地区(n=49)	20.4%	77.6%	2.0%
石鳥谷地区(n=262)	17.9%	80.2%	1.9%
東和地区(n=154)	18.8%	80.5%	0.6%
小学1年生(n=339)	27.7%	70.2%	2.1%
小学2年生(n=463)	20.5%	78.0%	1.5%
小学3年生(n=564)	16.3%	82.8%	0.9%
小学4年生(n=621)	15.9%	82.6%	1.4%
共働き(n=1,556)	17.5%	81.4%	1.1%
どちらかが就労(ひとり親を含む)(n=438)	24.9%	73.1%	2.1%

(3) 不特定の事業利用を希望する理由

問 利用したいと考える理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

【(2) で「1.」を選んだ方のみ回答】

- 不特定の事業利用を希望する理由について、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が 69.1%と最も多くなっています。次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 50.9%、「不特定の就労」が 32.5%となっています。



	回答数	構成比
1 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	199	50.9%
2 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	270	69.1%
3 不特定の就労	127	32.5%
4 その他	27	6.9%
無回答	4	1.0%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が最も高くなっています。
- また、小学1年生は「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が62.8%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 不定期の事業利用を希望する理由(地区別・学年別・親の就労状況別)

	私用、 リフレッシュ 目的	冠婚葬祭、学校 行事、子どもや 親の通院等	不定期の就労	その他	無回答
花巻地区(n=294)	51.4%	68.7%	29.9%	6.5%	1.0%
大迫地区(n=10)	50.0%	70.0%	30.0%	20.0%	0.0%
石鳥谷地区(n=47)	59.6%	63.8%	44.7%	4.3%	2.1%
東和地区(n=29)	37.9%	79.3%	27.6%	10.3%	0.0%
小学1年生(n=94)	62.8%	73.4%	34.0%	4.3%	0.0%
小学2年生(n=95)	43.2%	63.2%	30.5%	7.4%	2.1%
小学3年生(n=92)	47.8%	68.5%	28.3%	7.6%	1.1%
小学4年生(n=99)	50.5%	74.7%	33.3%	8.1%	1.0%
共働き(n=272)	50.7%	67.6%	30.5%	5.9%	1.5%
どちらかが就労(ひとり 親を含む)(n=109)	51.4%	73.4%	33.9%	8.3%	0.0%

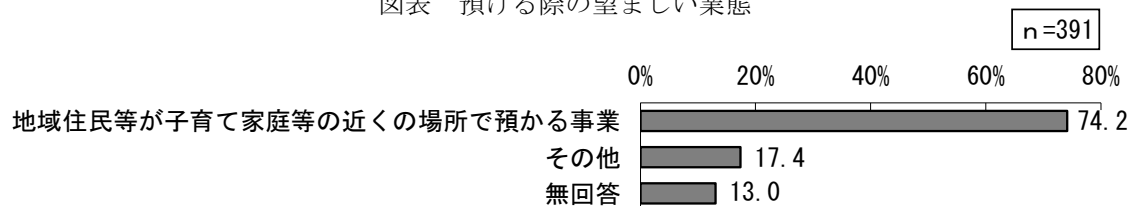
(4) 預ける際の望ましい業態

問 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(当てはまるものすべてに○)

【(2) で「1.」を選んだ方のみ回答】

○ 預ける際の望ましい業態について、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かる事業」が 74.2%となっています。

図表 預ける際の望ましい業態



(n=391)

	回答数	構成比
1 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かる事業	290	74.2%
2 その他	68	17.4%
無回答	51	13.0%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、大迫地区は「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かる事業」が 90.0%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 預ける際の望ましい業態（地区別・学年別・親の就労状況別）

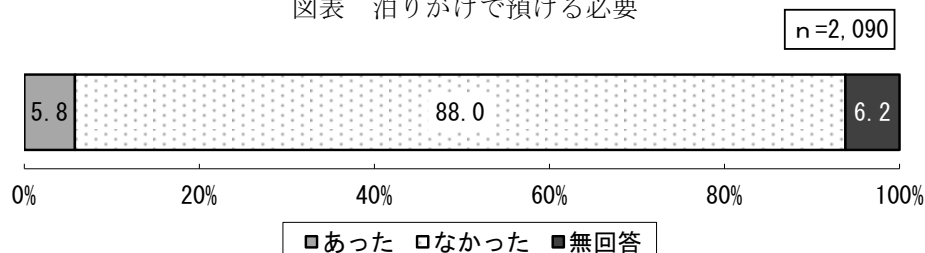
	地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で預かる事業	その他	無回答
花巻地区 (n=294)	73.8%	18.7%	13.3%
大迫地区 (n=10)	90.0%	10.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=47)	80.9%	8.5%	10.6%
東和地区 (n=29)	69.0%	20.7%	13.8%
小学1年生 (n=94)	76.6%	17.0%	10.6%
小学2年生 (n=95)	75.8%	8.4%	17.9%
小学3年生 (n=92)	70.7%	23.9%	13.0%
小学4年生 (n=99)	74.7%	20.2%	9.1%
共働き (n=272)	74.3%	17.6%	12.5%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=109)	75.2%	17.4%	12.8%

(5) 泊りがけで預ける必要

問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。
（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（当てはまるもの1つに○）

○ 泊りがけで預ける必要について、「あった」が5.8%、「なかった」が88.0%となっています。

図表 泊りがけで預ける必要



	回答数	構成比
1 あった	121	5.8%
2 なかった	1,840	88.0%
無回答	129	6.2%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「なかった」が8割以上となっています。

図表 泊りがけで預ける必要（地区別・学年別・親の就労状況別）

	あった	なかった	無回答
花巻地区 (n=1,551)	6.2%	88.0%	5.8%
大迫地区 (n=49)	0.0%	98.0%	2.0%
石鳥谷地区 (n=262)	4.6%	89.7%	5.7%
東和地区 (n=154)	6.5%	89.6%	3.9%
小学1年生 (n=339)	7.1%	87.9%	5.0%
小学2年生 (n=463)	6.7%	87.5%	5.8%
小学3年生 (n=564)	5.1%	90.1%	4.8%
小学4年生 (n=621)	5.0%	90.7%	4.3%
共働き (n=1,556)	5.4%	89.7%	4.9%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=438)	7.8%	87.2%	5.0%

(6) 泊りがけで預けた際の対応と対応日数

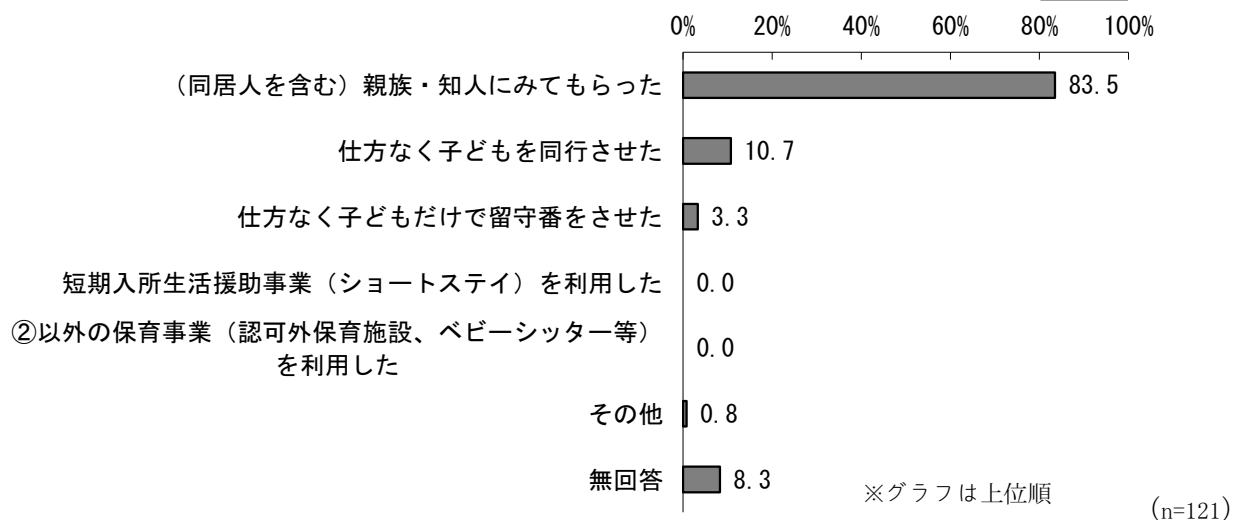
問 その際に行った対応はどんな内容ですか。(それぞれ数値を記入)

【(5) で「1.」を選んだ方のみ回答】

- 「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」について、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が 83.5%と最も多くなっています。

図表 泊りがけで預けた際の対応

n=121



	回答数	構成比
1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	101	83.5%
2 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	0	0.0%
3 ②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0%
4 仕方なく子どもを同行させた	13	10.7%
5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4	3.3%
6 その他	1	0.8%
無回答	10	8.3%

- 学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も高くなっています。

図表 泊りがけで預けた際の対応と対応日数（地区別・学年別・親の就労状況別）

	(同居者を含む) 親族・ 知人にみてもらった	短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した	②以外の保育事業(認可保育施設、 ベビーシッター等)を利用 した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	その他	無回答
花巻地区 (n=96)	83.3%	0.0%	0.0%	11.5%	4.2%	0.0%	8.3%
大迫地区 (n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=12)	83.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	8.3%
東和地区 (n=10)	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
小学1年生 (n=24)	79.2%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%
小学2年生 (n=31)	83.9%	0.0%	0.0%	9.7%	3.2%	0.0%	6.5%
小学3年生 (n=29)	82.8%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	3.4%	10.3%
小学4年生 (n=31)	90.3%	0.0%	0.0%	12.9%	9.7%	0.0%	3.2%
共働き (n=84)	86.9%	0.0%	0.0%	8.3%	4.8%	1.2%	7.1%
どちらかが就労(ひとり 親を含む) (n=34)	79.4%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	11.8%

① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった日数

- (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった日数について、平均は 4.78 日となっています。

図表 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった日数

	(n=101)
	値
平均：(日)	4.78
最大：(日)	50.00
最小：(日)	1.00

② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した日数

○ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した日数について、回答数は0となっています。

③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した日数

○ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した日数について、回答数は0となっています。

④ 仕方なく子どもだけを同行させた日数

○ 仕方なく子どもだけを同行させた日数について、平均は2.25日となっています。

図表 仕方なく子どもだけを同行させた日数

	(n=13)
	値
平均：(日)	2.25
最大：(日)	7.00
最小：(日)	1.00

⑤ 仕方なく子どもだけで留守番させた日数

○ 仕方なく子どもだけで留守番させた日数について、平均は2.50日となっています。

図表 仕方なく子どもだけで留守番させた日数

	(n=4)
	値
平均：(日)	2.50
最大：(日)	4.00
最小：(日)	1.00

⑥ その他の日数

○ その他の日数について、平均は3.00日となっています。

図表 その他の日数

	(n=1)
	値
平均：(日)	3.00
最大：(日)	3.00
最小：(日)	3.00

6 放課後の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方

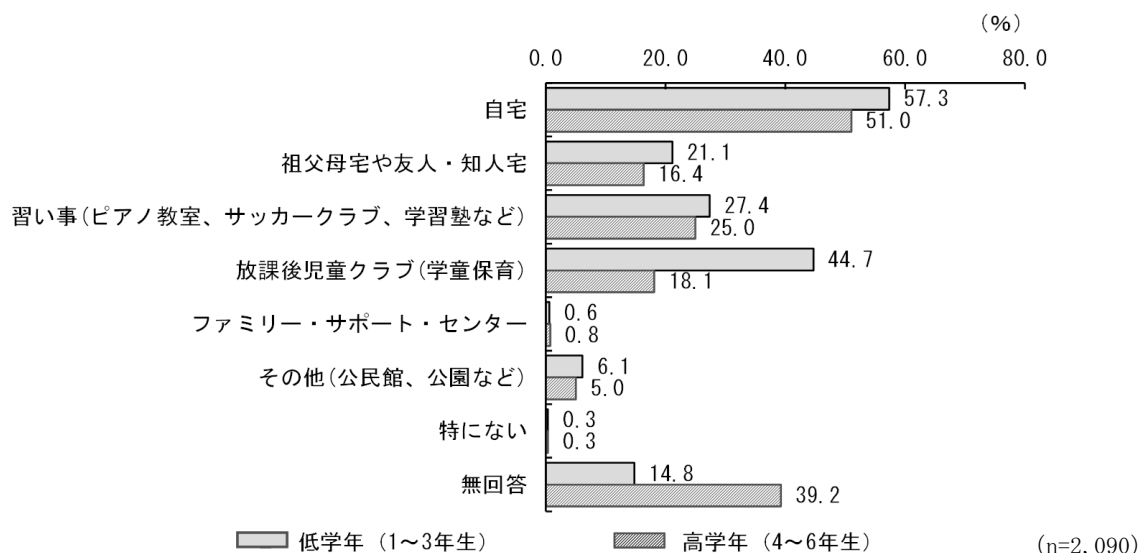
問 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。または、過ごしていましたか。（低学年・高学年のそれぞれ、最も当てはまるもの3つに○）

○ 放課後の過ごし方について、低学年の場合は「自宅」が57.3%と最も多くなっています。次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が44.7%、「習い事」が27.4%となっています。

○ また、高学年の場合は「自宅」が51.0%と最も多くなっています。次いで「習い事」が25.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が18.1%となっています。

図表 放課後の過ごし方

n=2,090



		回答数	構成比
(1) 1～3年生	1 自宅	1,198	57.3%
	2 祖父母宅や友人・知人宅	442	21.1%
	3 習い事	572	27.4%
	4 放課後児童クラブ（学童保育）	934	44.7%
	5 ファミリー・サポート・センター	13	0.6%
	6 その他	128	6.1%
	7 特にない	7	0.3%
	無回答	309	14.8%
(2) 4～6年生	1 自宅	1,066	51.0%
	2 祖父母宅や友人・知人宅	342	16.4%
	3 習い事	522	25.0%
	4 放課後児童クラブ（学童保育）	378	18.1%
	5 ファミリー・サポート・センター	16	0.8%
	6 その他	105	5.0%
	7 特にない	7	0.3%
	無回答	820	39.2%

① 1～3年生の放課後の過ごし方

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも「自宅」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「習い事」を上位に挙げています。

図表 1～3年生の放課後の過ごし方（地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
花巻地区 (n=1,551)	自宅 56.8%	放課後児童クラブ (学童保育) 46.8%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 27.7%
大迫地区 (n=49)	自宅 67.3%	放課後児童クラブ (学童保育) 30.6%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 26.5%
石鳥谷地区 (n=262)	自宅 61.5%	放課後児童クラブ (学童保育) 38.9%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 32.4%
東和地区 (n=154)	自宅 59.1%	放課後児童クラブ (学童保育) 41.6%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 20.8%
小学1年生 (n=339)	自宅 61.1%	放課後児童クラブ (学童保育) 60.2%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 29.2%
小学2年生 (n=463)	自宅 66.3%	放課後児童クラブ (学童保育) 54.2%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 31.7%
小学3年生 (n=564)	自宅 72.5%	放課後児童クラブ (学童保育) 45.6%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 37.4%
小学4年生 (n=621)	自宅 39.5%	放課後児童クラブ (学童保育) 31.7%	祖父母宅や友人・知人宅 17.2%
共働き (n=1,556)	自宅 55.3%	放課後児童クラブ (学童保育) 49.8%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 27.0%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	自宅 67.8%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 31.5%	放課後児童クラブ (学童保育) 31.5%

② 4～6年生の放課後の過ごし方

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「自宅」が最も高くなっています。

図表 4～6年生の放課後の過ごし方
(地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目)

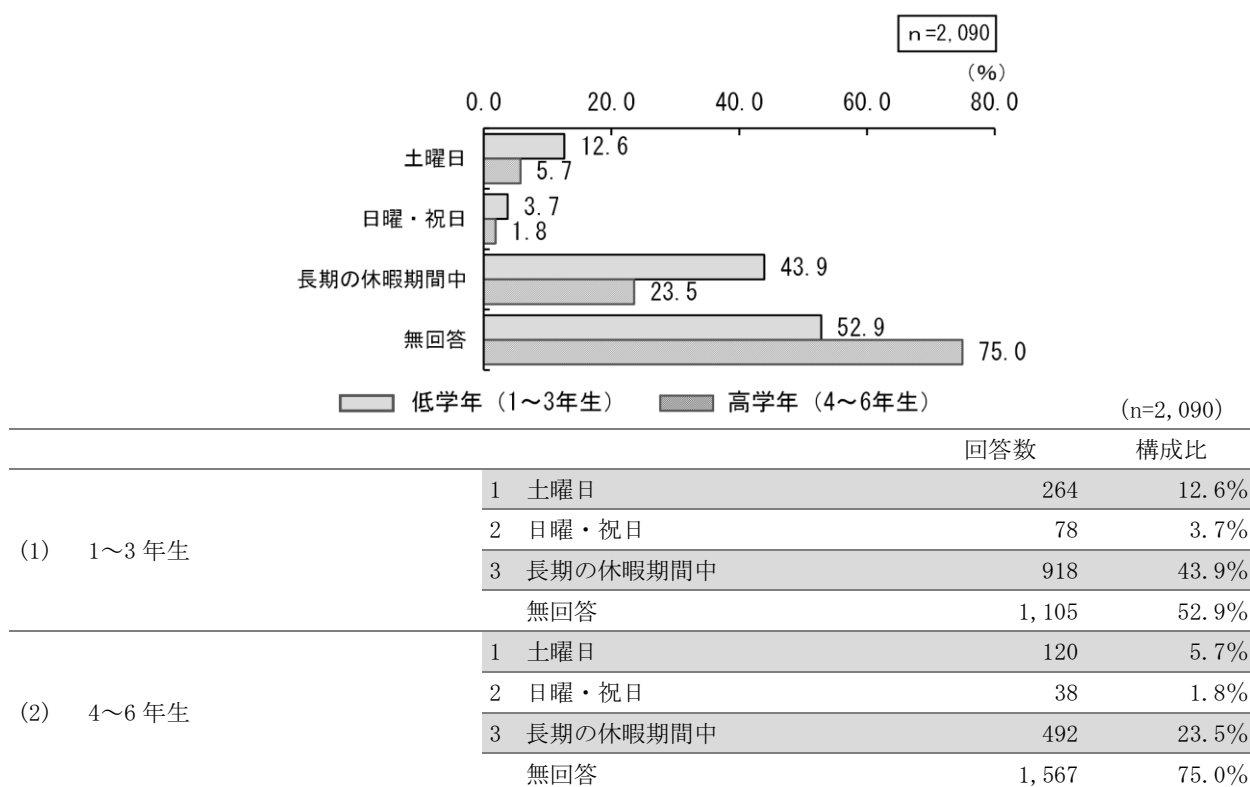
	第1位	第2位	第3位
花巻地区 (n=1,551)	自宅 52.2%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 26.2%	放課後児童クラブ(学童保育) 19.3%
大迫地区(n=49)	自宅 51.0%	祖父母宅や友人・知人宅 20.4%	放課後児童クラブ(学童保育) 16.3%
石鳥谷地区 (n=262)	自宅 51.1%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 27.9%	祖父母宅や友人・知人宅 17.6%
東和地区(n=154)	自宅 46.1%	放課後児童クラブ(学童保育) 19.5%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 17.5%
小学1年生 (n=339)	自宅 30.1%	放課後児童クラブ(学童保育) 17.4%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 17.1%
小学2年生 (n=463)	自宅 37.8%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 22.7%	放課後児童クラブ(学童保育) 15.1%
小学3年生 (n=564)	自宅 41.1%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 20.4%	祖父母宅や友人・知人宅 14.4%
小学4年生 (n=621)	自宅 82.0%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 35.6%	祖父母宅や友人・知人宅 28.0%
共働き(n=1,556)	自宅 51.9%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 25.4%	放課後児童クラブ(学童保育) 19.4%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	自宅 51.1%	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) 26.7%	放課後児童クラブ(学童保育) 16.0%

(2) 休日の放課後児童クラブの利用・利用意向

問 宛名のお子さんについて、土曜日、日曜・祝日、長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。または、過ごしていましたか。
(低学年・高学年のそれぞれ当てはまるものすべてに○)

○ 休日の放課後児童クラブの利用・利用意向について、低学年・高学年ともに「長期休暇期間中」が最も多くなっています。

図表 休日の放課後児童クラブの利用・利用意向



① 1～3年生の利用意向

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「長期の休暇期間中」が最も高くなっています。

図表 1～3年生の利用意向（地区別・学年別・親の就労状況別）

	土曜日	日曜・祝日	長期の休暇期間中	無回答
花巻地区 (n=1,551)	12.5%	3.7%	44.6%	52.0%
大迫地区 (n=49)	0.0%	0.0%	40.8%	59.2%
石鳥谷地区 (n=262)	13.4%	2.3%	40.8%	55.3%
東和地区 (n=154)	16.2%	8.4%	46.1%	51.3%
小学1年生 (n=339)	20.1%	5.6%	55.5%	38.3%
小学2年生 (n=463)	15.3%	5.2%	55.1%	41.5%
小学3年生 (n=564)	11.2%	3.5%	48.8%	48.2%
小学4年生 (n=621)	8.7%	2.3%	28.3%	69.9%
共働き (n=1,556)	13.2%	3.6%	47.9%	49.0%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=438)	13.2%	5.0%	33.8%	61.9%

② 4～6年生の利用意向

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、小学4年生は「長期の休暇期間中」が33.8%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 4～6年生の利用意向（地区別・学年別・親の就労状況別）

	土曜日	日曜・祝日	長期の休暇期間中	無回答
花巻地区 (n=1,551)	6.0%	1.7%	24.4%	74.0%
大迫地区 (n=49)	0.0%	2.0%	26.5%	73.5%
石鳥谷地区 (n=262)	6.1%	2.3%	17.2%	80.5%
東和地区 (n=154)	6.5%	3.2%	27.9%	72.1%
小学1年生 (n=339)	5.6%	2.1%	18.6%	78.8%
小学2年生 (n=463)	5.2%	1.9%	19.7%	78.8%
小学3年生 (n=564)	3.7%	1.4%	18.8%	80.7%
小学4年生 (n=621)	8.7%	2.1%	33.8%	64.3%
共働き (n=1,556)	5.8%	1.6%	24.9%	73.5%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=438)	6.4%	3.0%	21.2%	77.4%

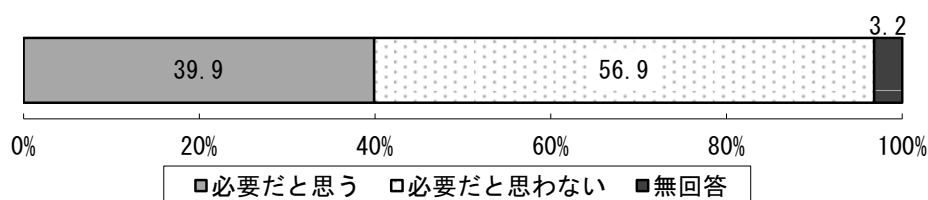
(3) 新たな放課後の居場所の必要性

問 (1) の場所のほかに、放課後や土曜・休日にお子さんの居場所が必要と思いますか。
(当てはまるもの1つに○)

○ 新たな放課後の居場所の必要性について、「必要だと思う」が39.9%、「必要だと思わない」が56.9%となっています。

図表 新たな放課後の居場所の必要性

n=2,090



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 必要だと思う	834	39.9%
2 必要だと思わない	1,189	56.9%
無回答	67	3.2%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「必要だと思わない」が5割以上となっています。

図表 新たな放課後の居場所の必要性（地区別・学年別・親の就労状況別）

	必要だと思う	必要だと思わない	無回答
花巻地区 (n=1,551)	40.7%	56.5%	2.8%
大迫地区 (n=49)	40.8%	57.1%	2.0%
石鳥谷地区 (n=262)	35.9%	61.8%	2.3%
東和地区 (n=154)	45.5%	53.9%	0.6%
小学1年生 (n=339)	39.5%	57.5%	2.9%
小学2年生 (n=463)	41.5%	56.4%	2.2%
小学3年生 (n=564)	39.9%	59.2%	0.9%
小学4年生 (n=621)	41.4%	56.7%	1.9%
共働き (n=1,556)	39.6%	58.7%	1.7%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=438)	45.2%	52.5%	2.3%

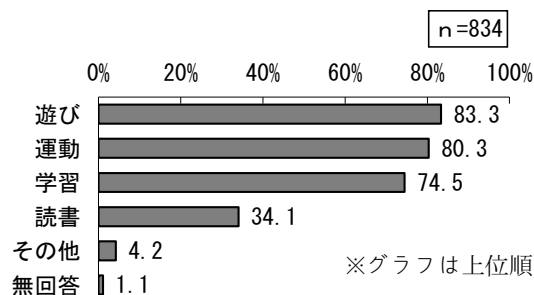
(4) 放課後の居場所に必要な活動目的

問 放課後や土曜・休日にお子さんの居場所を設ける場合、その居場所で必要と考える活動はどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○)

【(3) で「1.」を選んだ方のみ回答】

○ 放課後の居場所に必要な活動目的について、「遊び」が 83.3%と最も多くなっています。次いで「運動」が 80.3%、「学習」が 74.5%となっています。

図表 放課後の居場所に必要な活動目的



	回答数	構成比
1 学習	621	74.5%
2 読書	284	34.1%
3 遊び	695	83.3%
4 運動	670	80.3%
5 その他	35	4.2%
無回答	9	1.1%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも「学習」、「遊び」、「運動」を上位に挙げています。

図表 放課後の居場所に必要な活動目的（地区別・学年別・親の就労状況別）

	学習	読書	遊び	運動	その他	無回答
花巻地区 (n=632)	75.2%	34.0%	82.4%	79.3%	4.9%	1.1%
大迫地区 (n=20)	80.0%	40.0%	85.0%	85.0%	0.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=94)	73.4%	33.0%	88.3%	85.1%	2.1%	1.1%
東和地区 (n=70)	71.4%	35.7%	84.3%	84.3%	2.9%	1.4%
小学1年生 (n=134)	76.1%	38.8%	87.3%	80.6%	3.7%	1.5%
小学2年生 (n=192)	75.5%	34.4%	83.3%	84.4%	4.7%	1.0%
小学3年生 (n=225)	73.3%	28.9%	83.6%	76.9%	3.1%	0.4%
小学4年生 (n=257)	72.8%	34.6%	81.3%	81.7%	5.4%	1.2%
共働き (n=616)	75.3%	33.8%	83.0%	78.6%	3.2%	1.3%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=198)	71.7%	34.8%	84.8%	86.9%	7.6%	0.5%

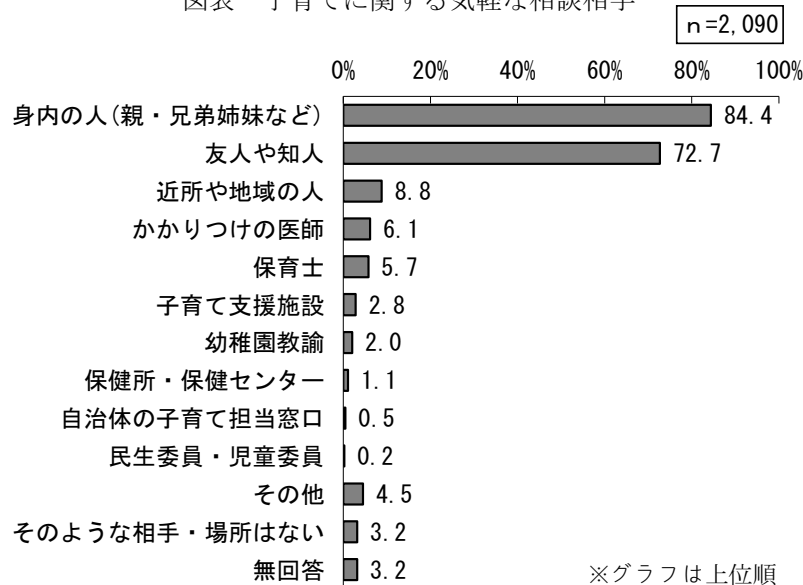
7 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに関する気軽な相談相手

問 日頃、子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

○ 子育てに関する気軽な相談相手について、「身内の人（親・兄弟姉妹など）」が 84.4% と最も多くなっています。次いで「友人や知人」が 72.7%、「近所や地域の人」が 8.8%となっています。

図表 子育てに関する気軽な相談相手



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 身内の人(親・兄弟姉妹など)	1,764	84.4%
2 友人や知人	1,519	72.7%
3 近所や地域の人	184	8.8%
4 子育て支援施設	59	2.8%
5 保健所・保健センター	22	1.1%
6 保育士	120	5.7%
7 幼稚園教諭	42	2.0%
8 民生委員・児童委員	4	0.2%
9 かかりつけの医師	128	6.1%
10 自治体の子育て担当窓口	10	0.5%
11 その他	94	4.5%
12 そのような相手・場所はない	66	3.2%
無回答	66	3.2%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも「身内の人(親・兄弟姉妹など)」、「友人や知人」を上位に挙げています。

図表 子育てに関する気軽な相談相手
(地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目)

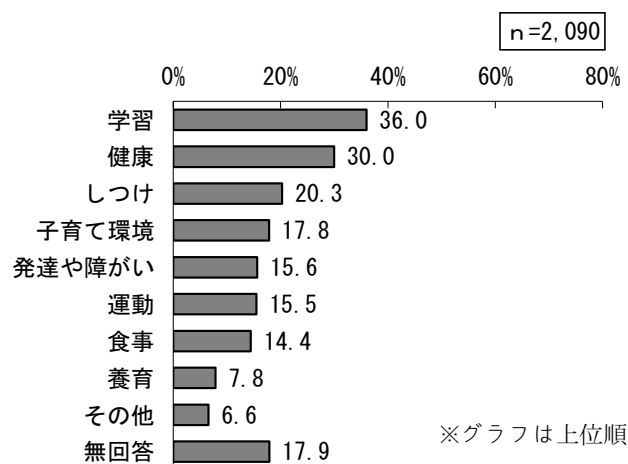
	第1位	第2位	第3位
花巻地区 (n=1,551)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 85.0%	友人や知人 73.3%	近所や地域の人 8.8%
大迫地区 (n=49)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 83.7%	友人や知人 75.5%	かかりつけの医師 8.2%
石鳥谷地区 (n=262)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 85.5%	友人や知人 71.4%	かかりつけの医師 8.4%
東和地区 (n=154)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 85.1%	友人や知人 75.3%	近所や地域の人 12.3%
小学1年生 (n=339)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 85.8%	友人や知人 71.1%	保育士 8.0%
小学2年生 (n=463)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 86.2%	友人や知人 73.4%	近所や地域の人 9.9%
小学3年生 (n=564)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 85.5%	友人や知人 74.6%	近所や地域の人 8.5%
小学4年生 (n=621)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 85.3%	友人や知人 74.2%	近所や地域の人 10.3%
共働き (n=1,556)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 86.6%	友人や知人 76.7%	近所や地域の人 9.4%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	身内の人 (親・兄弟姉妹など) 80.8%	友人や知人 64.4%	近所や地域の人 7.1%

（２）行政窓口相談の内容

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）について、行政の窓口で相談する場合、どのようなことを相談したいと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

○ 行政窓口相談の内容について、「学習」が 36.0%と最も多くなっています。次いで「健康」が 30.0%、「しつけ」が 20.3%となっています。

図表 行政窓口相談の内容



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 健康	627	30.0%
2 しつけ	424	20.3%
3 食事	302	14.4%
4 学習	753	36.0%
5 運動	324	15.5%
6 発達や障がい	327	15.6%
7 養育	164	7.8%
8 子育て環境	373	17.8%
9 その他	137	6.6%
無回答	374	17.9%

○ 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも「学習」、「健康」を上位に挙げています。

図表 行政窓口に相談する内容（地区別・学年別・親の就労状況別：上位3項目）

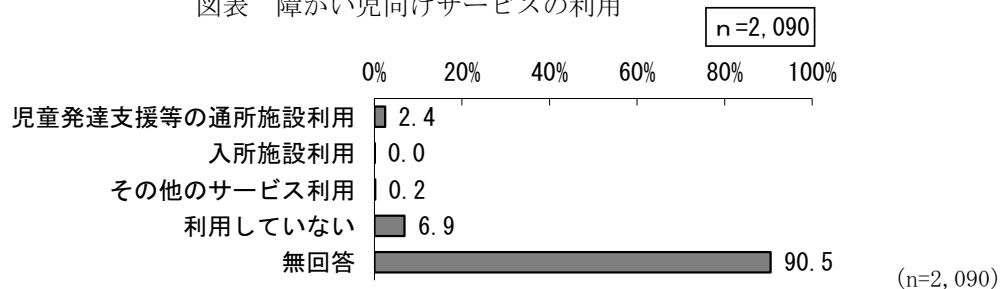
	第1位	第2位	第3位
花巻地区 (n=1,551)	学習 36.6%	健康 29.3%	しつけ 20.8%
大迫地区 (n=49)	学習 32.7%	健康 24.5%	しつけ・発達や障がい 20.4%（同率）
石鳥谷地区 (n=262)	学習 38.5%	健康 32.8%	しつけ 20.2%
東和地区 (n=154)	健康 39.6%	学習 35.1%	子育て環境 22.1%
小学1年生 (n=339)	学習 36.6%	健康 31.9%	しつけ 27.4%
小学2年生 (n=463)	学習 35.0%	健康 33.0%	しつけ 22.0%
小学3年生 (n=564)	学習 36.5%	健康 28.5%	しつけ 18.8%
小学4年生 (n=621)	学習 38.2%	健康 30.1%	しつけ 18.0%
共働き (n=1,556)	学習 36.4%	健康 31.6%	しつけ 21.4%
どちらかが就労 (ひとり親を含む) (n=438)	学習 38.4%	健康 26.7%	子育て環境 19.9%

(3) 障がい児向けサービスの利用

問 障がいのある小学校入学前のお子さんのいる世帯にお伺いします。お子さんについて、現在利用されているサービスはありますか。（当てはまるものすべてに○）

- 障がい児向けサービスの利用について、「児童発達支援等の通所施設利用」が 2.4%と最も多くなっています。
- また、「利用していない」は 6.9%となっています。

図表 障がい児向けサービスの利用



	回答数	構成比
1 児童発達支援等の通所施設利用	51	2.4%
2 入所施設利用	1	0.0%
3 その他のサービス利用	4	0.2%
4 利用していない	144	6.9%
無回答	1,891	90.5%

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に「児童発達支援等の通所施設利用」が 1.0～3.0%程度の回答となっています。

図表 障がい児向けサービスの利用（地区別・学年別・親の就労状況別）

	児童発達支援等の通所施設利用	入所施設利用	その他のサービス利用	利用していない	無回答
花巻地区 (n=1,551)	2.3%	0.1%	0.1%	7.2%	90.5%
大迫地区 (n=49)	2.0%	0.0%	0.0%	4.1%	93.9%
石鳥谷地区 (n=262)	3.1%	0.0%	0.4%	7.6%	88.9%
東和地区 (n=154)	1.9%	0.0%	0.0%	5.2%	92.9%
小学1年生 (n=339)	1.8%	0.0%	0.0%	5.0%	93.2%
小学2年生 (n=463)	2.6%	0.0%	0.2%	7.1%	90.1%
小学3年生 (n=564)	3.2%	0.0%	0.2%	7.1%	89.7%
小学4年生 (n=621)	2.3%	0.2%	0.3%	6.9%	90.3%
共働き (n=1,556)	2.2%	0.1%	0.2%	6.7%	90.8%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=438)	3.2%	0.0%	0.2%	7.5%	89.0%

(4) 利用したい障がい児向け事業

問 放課後や土曜・休日にお子さんの居場所を設ける場合、その居場所で必要と考える活動はどのようなことですか。(当てはまるものすべてに○)

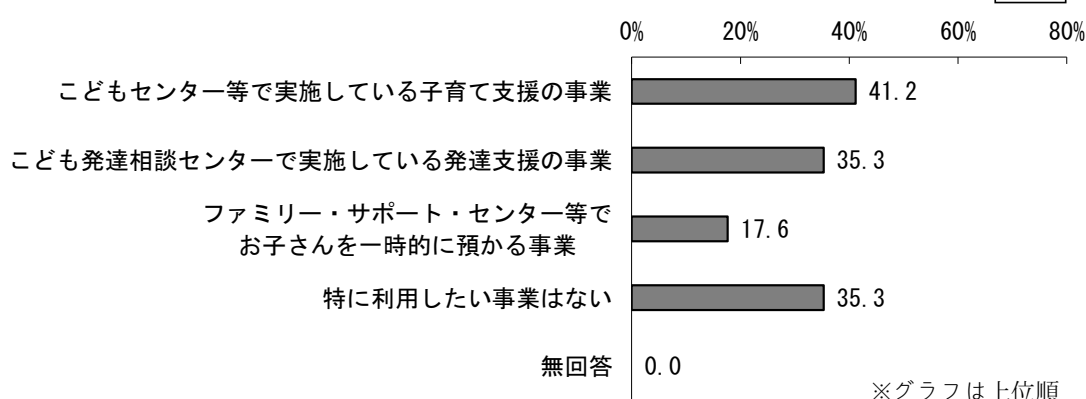
【(3) で「1.」を選んだ方のみ回答】

○ 利用したい障がい児向け事業について、「こどもセンター等で実施している子育て支援の事業」が 41.2%と最も多くなっています。次いで「こども発達相談センターで実施している発達支援の事業」が 35.3%となっています。

○ また、「特に利用したい事業はない」は 35.3%となっています。

図表 利用したい障がい児向け事業

n=51



	回答数	構成比
1 こどもセンター等で実施している子育て支援の事業	21	41.2%
2 こども発達相談センターで実施している発達支援の事業	18	35.3%
3 ファミリー・サポート・センター等でお子さんを一時的に預かる事業	9	17.6%
4 特に利用したい事業はない	18	35.3%
無回答	0	0.0%

- 学年・親の就労状況別でみると、小学2年生は「こどもセンター等で実施している子育て支援の事業」が66.7%と、他属性と比較し割合が高くなっています。

図表 利用したい障がい児向け事業（地区別・学年別・親の就労状況別）

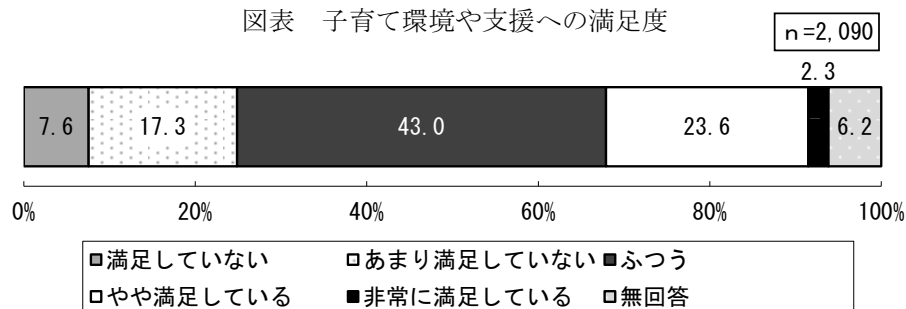
	こどもセンター等で実施している子育て支援の事業	こども発達相談センターで実施している発達支援の事業	ファミリー・サポート・センター等でお子さんを一時的に預かる事業	特に利用したい事業はない	無回答
花巻地区 (n=35)	45.7%	42.9%	11.4%	28.6%	0.0%
大迫地区 (n=1)	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
石鳥谷地区 (n=8)	25.0%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%
東和地区 (n=3)	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%
小学1年生 (n=6)	33.3%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%
小学2年生 (n=12)	66.7%	41.7%	25.0%	8.3%	0.0%
小学3年生 (n=18)	33.3%	16.7%	11.1%	55.6%	0.0%
小学4年生 (n=14)	28.6%	42.9%	21.4%	35.7%	0.0%
共働き (n=35)	48.6%	42.9%	17.1%	25.7%	0.0%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=14)	21.4%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%

(5) 子育て環境や支援への満足度

問 お住まいの地域における、子育て環境や支援への満足度についてお答えください。
(当てはまるもの1つに○)

- 子育て環境や支援への満足度について、「満足していない」(7.6%)、「あまり満足していない」(17.3%)を合わせた2割台半ば(24.9%)の方は“満足していない※”と感じている一方で、「やや満足している」(23.6%)、「非常に満足している」(2.3%)を合わせた2割台半ば(25.9%)の方は“満足している※”と感じています。
- また、「ふつう」は43.0%となっています。

図表 子育て環境や支援への満足度



(n=2,090)

	回答数	構成比
1 満足していない	158	7.6%
2 あまり満足していない	362	17.3%
3 ふつう	899	43.0%
4 やや満足している	493	23.6%
5 非常に満足している	49	2.3%
無回答	129	6.2%

※ “満足していない”：「満足していない」、「あまり満足していない」と回答した方

※ “満足している”：「やや満足している」、「非常に満足している」と回答した方

- 地区・学年・親の就労状況別でみると、各属性とも回答全体と同様に“満足していない”、“満足している”と回答した割合がどちらもそれぞれ2割前後となっています。

図表 子育て環境や支援への満足度（地区別・学年別・親の就労状況別）

	“満足していない”		ふつう	“満足している”		無回答
	満足してない	あまり満足していない		やや満足している	非常に満足している	
花巻地区 (n=1,551)	7.8%	17.0%	43.5%	23.6%	2.1%	6.1%
大迫地区 (n=49)	4.1%	22.4%	42.9%	22.4%	2.0%	6.1%
石鳥谷地区 (n=262)	8.0%	19.8%	44.3%	19.8%	4.6%	3.4%
東和地区 (n=154)	7.1%	16.2%	41.6%	29.2%	1.9%	3.9%
小学1年生 (n=339)	5.9%	17.1%	43.4%	26.8%	2.1%	4.7%
小学2年生 (n=463)	8.0%	16.6%	37.8%	27.6%	2.8%	7.1%
小学3年生 (n=564)	8.7%	17.2%	47.3%	22.5%	2.1%	2.1%
小学4年生 (n=621)	7.4%	18.8%	45.1%	20.8%	2.4%	5.5%
共働き (n=1,556)	7.2%	17.0%	43.8%	24.7%	2.3%	4.9%
どちらかが就労（ひとり親を含む） (n=438)	9.4%	18.9%	43.2%	21.5%	2.3%	4.8%